第３次那珂川町
子ども・子育て支援プラン

～ 豊かな自然と愛情に包まれて
子どもがすくすく育つまち ～



令和７年３月

はじめに



全国各地で進行する少子化は歯止めがかからず、家族や地域、雇用など、子育て世帯を取り巻く環境は、従来から大きく変化しています。

那珂川町においても例外ではなく、令和６年度の出生数は３０人を下回る見込みであるなど、人口減少のスピードは県内でもワーストクラスです。

このような状況であっても、那珂川町の子どもたちが健やかに成長し、希望ある未来を歩んでいくためには、町はもちろん、地域全体で支援していくことが必要です。

このたび策定した、第３次那珂川町子ども・子育て支援プランでは、子どもたちが希望を持ち、そのご家族が安心して子育てできるよう、子育て世帯への支援充実や保育環境の整備など、様々な施策を実施していくことといたしました。

子どもたちは、町の未来そのものです。子どもたちが夢を持って健やかに成長できるよう、子育て世帯を地域で支え合い、皆様と一緒に温かい那珂川町を作り上げていきたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたり、ご協力いただきました子ども・子育て会議の委員の皆様をはじめ、ニーズ調査に貴重なご意見をいただいた多くの町民の皆様に心から感謝申し上げます。

令和７年３月

那珂川町長　福　島　泰　夫

目　次

１．計画策定に当たって ····· 1

２．那珂川町の子どもを取り巻く環境 ····· 2

３．計画の基本的な考え方 ····· 8

４．具体的施策の展開

(1) 地域における子育て支援 ····· 10
(2) 母性並びに乳幼児等の健康確保増進 ····· 13
(3) 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備 ····· 16
(4) 子育てを支援する生活環境の整備 ····· 18
(5) 職業生活と家庭生活との両立の推進 ····· 19
(6) 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進 ····· 20
(7) 婚活サポートの推進 ····· 22

５．量の見込みと提供体制

(1) 教育・保育提供区域の設定 ····· 24
(2) 幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制の確保 ····· 24
(3) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保 ····· 25

６．計画の推進体制 ····· 31

資料編

(1) 「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」調査票
(2) 「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」調査結果
(3) 那珂川町子ども・子育て会議条例
(4) 那珂川町子ども・子育て会議委員名簿
(5) 第３次那珂川町子ども・子育て支援プラン策定経緯



１．計画策定に当たって

○背景

全国で歯止めが利かない少子高齢化・核家族化、地域の連帯感の希薄化などにより、子どもや家庭を取り巻く社会環境は変化し続けています。

国においては、令和５年４月にこども家庭庁を発足し、また、令和５年１２月には「こども未来戦略」を策定し、若い世代が希望どおり結婚し、希望する誰もが子どもを持ち、安心して子育てできる社会、子どもたちが笑顔で暮らせる社会の実現を目指して、前例に捉われない新たな子育て支援制度の充実を図っています。

この「こども未来戦略」では、子育て世帯の家計を応援するために児童手当の拡充や医療費等の負担軽減を、すべての子どもと子育てを応援するためにこども誰でも通園制度の創設や放課後児童クラブの拡充を、共働き・共育てを応援するために男性の育休取得推進や育児時短就業給付を実施するものとしており、「こどもまんなか」社会の実現を目的としています。

○計画の位置づけ

本プランは、子ども・子育て支援法第６１条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」として策定するものです。

また、時限立法として有効期限が令和７年３月まで延長されていた「次世代育成支援対策推進法」が、男女とも仕事と子育てを両立できる職場を目指す観点から、令和１７年３月まで再度１０年間延長されたことに伴い、本町では、これまで推進してきた次世代育成支援対策行動計画の内容についても引き続き本プランに盛り込み、本プランを「次世代育成支援対策推進法」第８条に基づく市町村行動計画と位置付けます。

さらに、令和元年６月に子どもの貧困対策の推進に関する法律（現在のこどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律）が改正され、子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、貧困が世代を超えて連鎖することがない社会の実現を目指していることから、当町でもこれまで以上にこどもの貧困の解消に向けた対策を推進することとし、同法第１０条第２項に基づく市町村計画を、本プランに内包する形で策定します。

なお、本プランの策定にあたっては、上位計画である那珂川町総合振興計画及び関連計画との整合性を図ることとします。

○計画期間

第３次那珂川町子ども・子育て支援プランは、令和７年度から令和１１年度の５年間を計画期間とします。

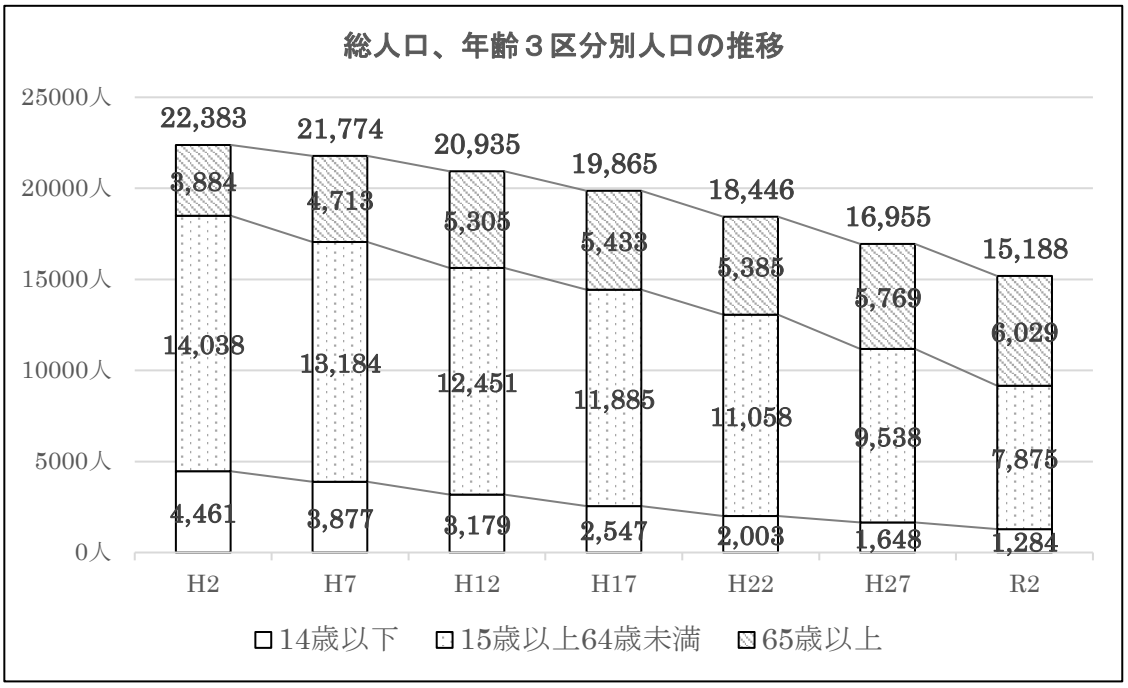
２．那珂川町の子どもを取り巻く環境

（１）人口の推移

人口は年々減少しており、平成 2 年から令和 2 年までの 30 年間で 7,195 人の減（増減率▲32.1%）となっています。年齢区分別にみると、年少人口（14 歳以下）が 3,177 人の減(増減率▲71.2%)、生産年齢人口(15 歳以上 64 歳以下)が 6,163 人の減(増減率▲43.9%)、高齢人口（65 歳以上）が 2,145 人の増（増減率＋55.2%）となっており、少子高齢化の進行に歯止めがかからない状況です。

○総人口、年齢３区分別人口　　（単位：人，%）

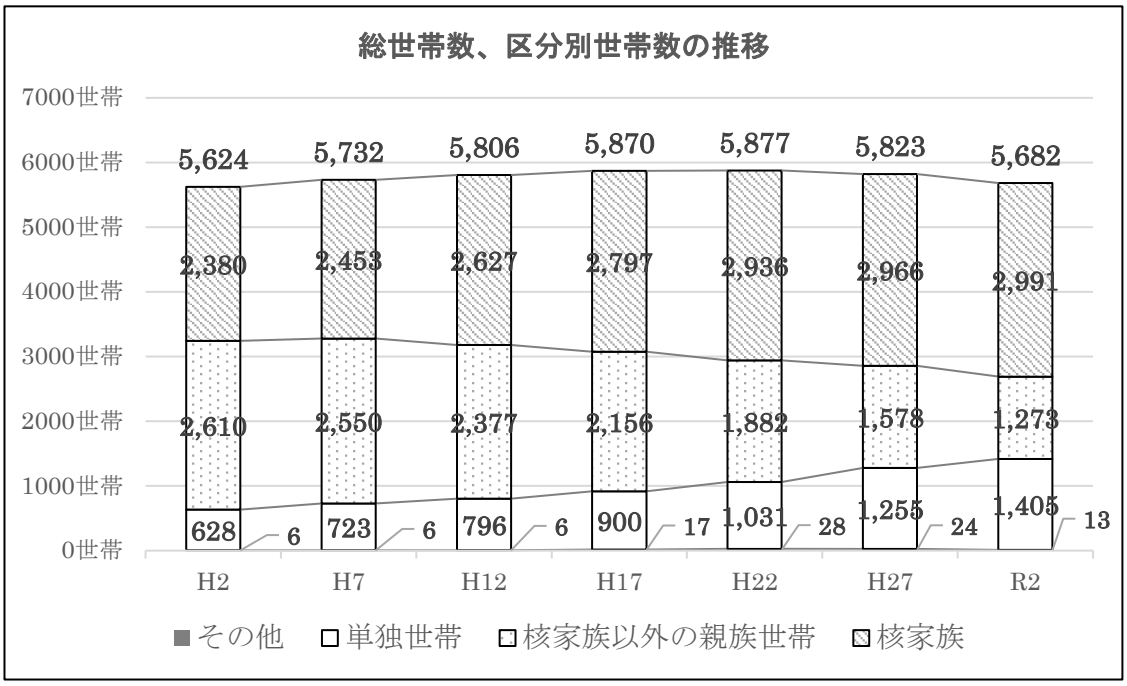
区分＼年度		H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
14 歳以下	人口	4,461	3,877	3,179	2,547	2,003	1,648	1,284
	構成比	19.9	17.8	15.1	12.8	10.9	9.70	8.5
15 歳以上 64 歳以下	人口	14,038	13,184	12,451	11,885	11,058	9,538	7,875
	構成比	62.7	60.6	59.6	59.9	59.9	56.29	51.9
65 歳以上	人口	3,884	4,713	5,305	5,433	5,385	5,769	6,029
	構成比	17.4	21.6	25.3	27.3	29.2	34.01	39.7
合　計		22,383	21,774	20,935	19,865	18,446	16,955	15,188



（資料：国勢調査）

（２）世帯数の推移

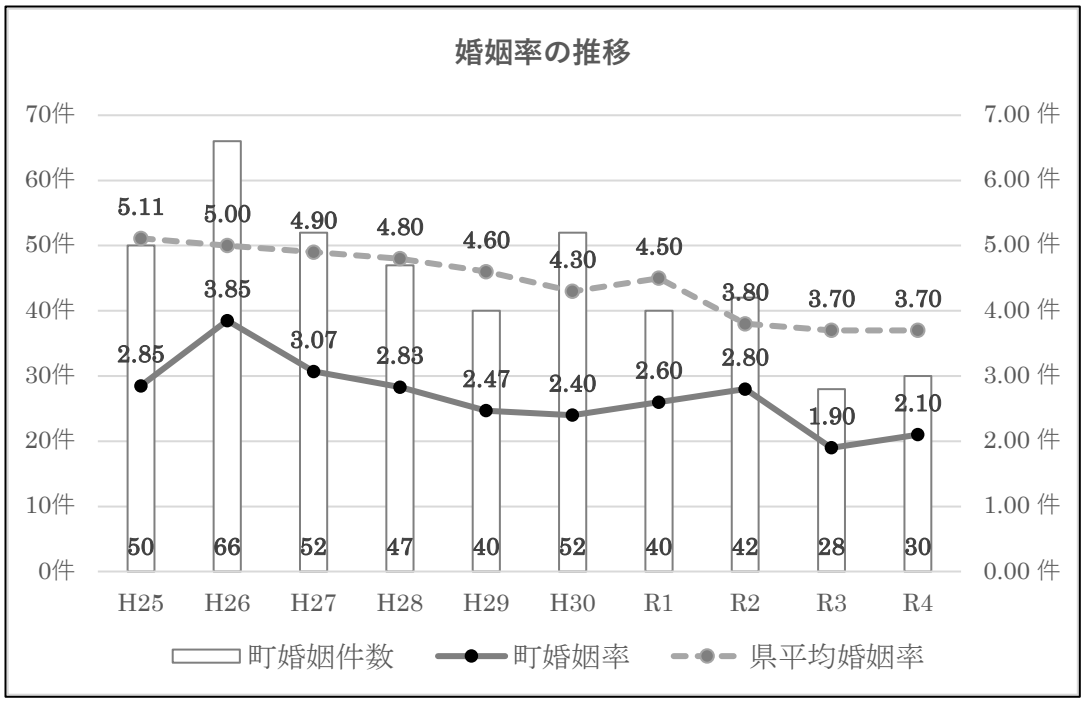
総世帯数は横ばいですが、核家族の割合が年々増えて、核家族化が進んでいます。



（資料：国勢調査）

（３）婚姻率（人口千人当たりの件数）の推移

婚姻率は、平成 25 年は 2.85 件で、その後増減を繰り返し、令和 4 年には 2.10 件と減少傾向であり、県平均を大きく下回っています。

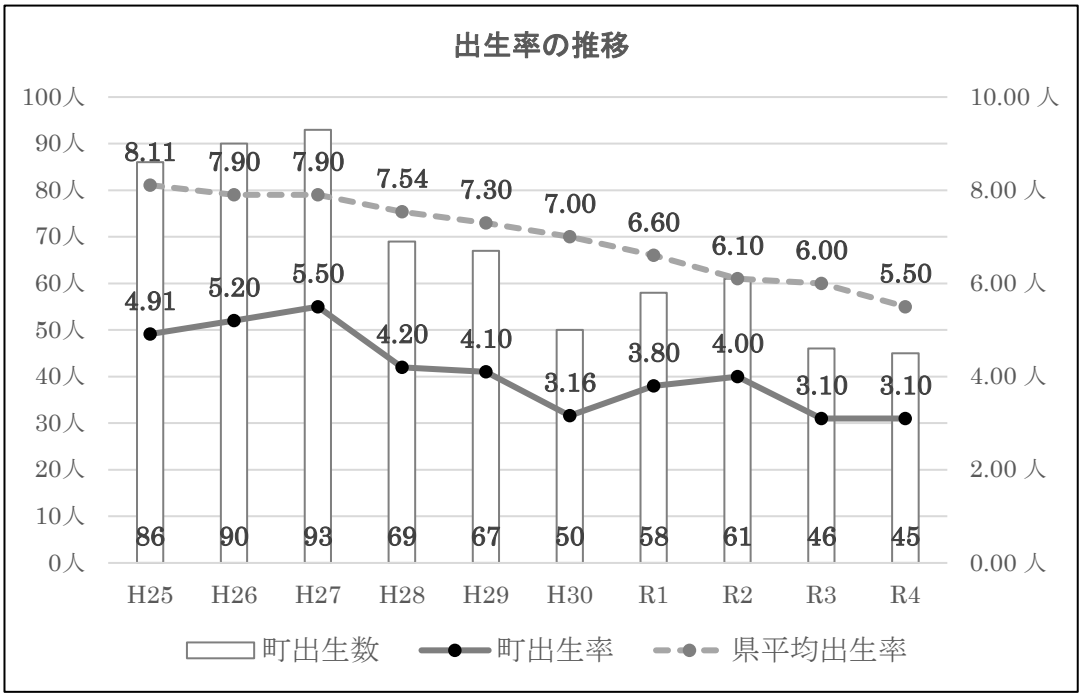


（資料：人口動態調査）

（４）出生率（人口千人当たりの出生数）の推移

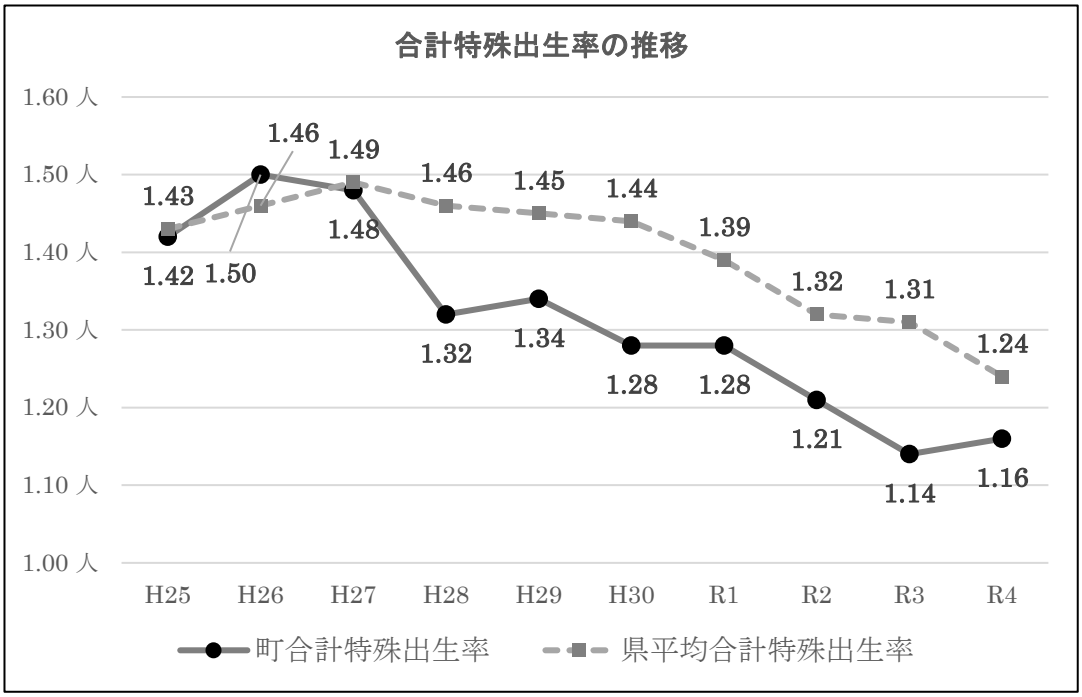
出生数は、平成 28 年に急激に減少して以降、各年で増減を繰り返し、令和 4 年には 45

人となっています。また、出生率については、県平均を大きく下回っています。



（資料：人口動態調査）

合計特殊出生率も、出生数及び出生率と同様に減少傾向にあり、平成 27 年以降は県平均を下回っている状況です。



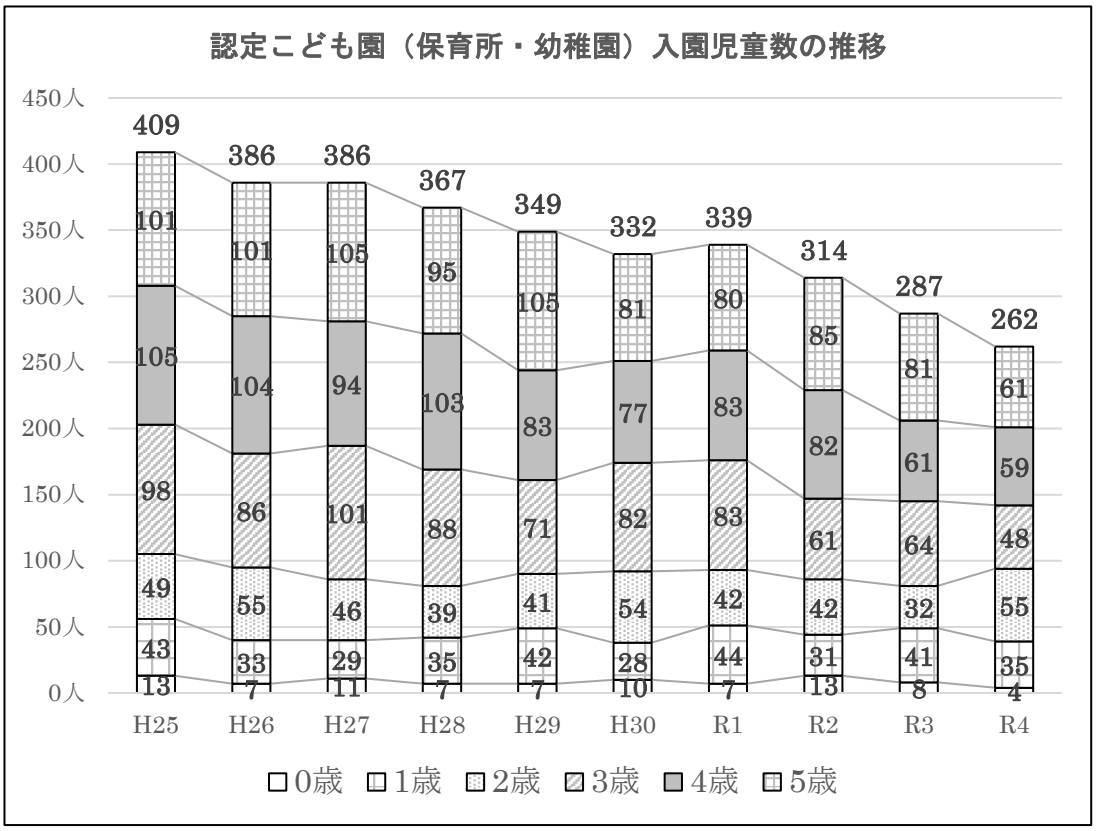
（資料：人口動態調査）

※合計特殊出生率： 15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む子どもの数を示す人口統計上の指標。

（５）認定こども園（幼稚園・保育園）利用状況

町立認定こども園（H28 までは町立幼稚園 2 園及び町立保育園 4 園、H29 から R3 までは町立認定こども園 3 園）の入園児童数は、平成 25 年度は 400 人を超えていましたが、翌年度から現在に至るまで減少傾向が続き、令和 4 年度には 262 人となりました。

これに対し、町立認定こども園 2 園の令和 4 年度の定員数は、合計で 360 人（ひばり 160 人、わかあゆ 200 人）なので、充足率は 72.7％となっています。



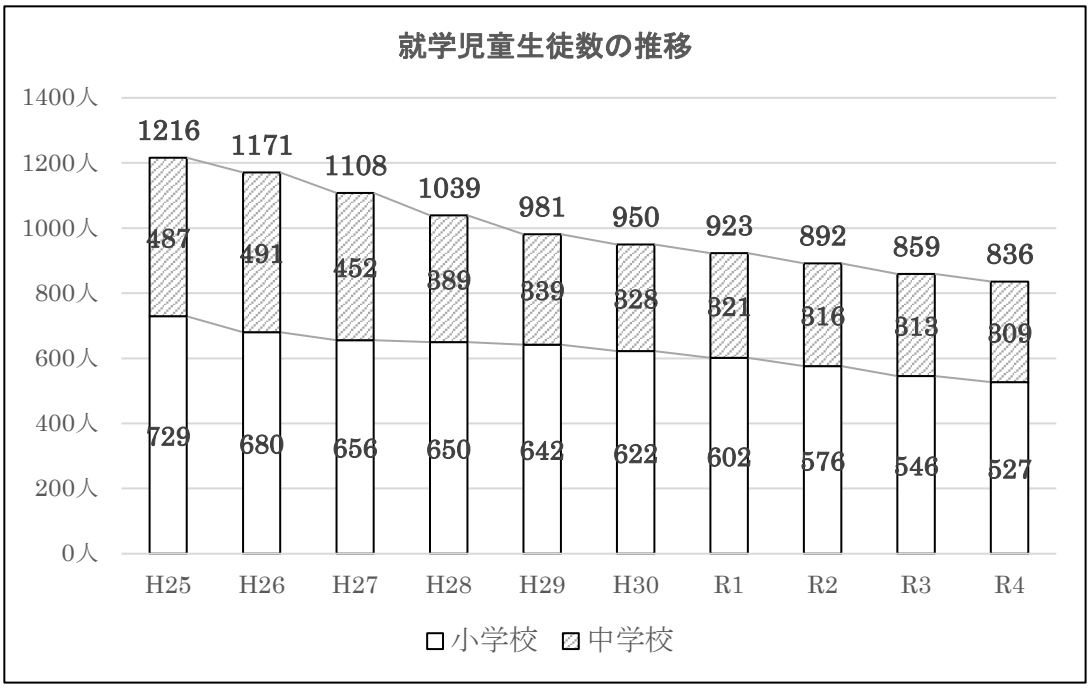
（資料：学校基本調査）

（６）就学児童生徒数の推移

小学校は、統廃合により平成 30 年度から 3 校に、中学校は従来から 2 校となっておりますが、小学校児童数、中学校生徒数ともに年々減少している状況です。

○児童生徒数等の推移　（単位：校，学級，人）

区分＼年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	校数	6	4	4	4	4	3	3	3	3	3
	学級数	43	38	38	37	37	34	33	32	32	32
	児童数	729	680	656	650	642	622	602	576	546	527
中学校	校数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	学級数	20	21	20	17	17	17	17	16	16	16
	生徒数	407	491	452	389	339	328	321	316	313	309



（資料：学校基本調査）

（７）産業別就業者数

産業別就業者数は、第３次産業が 51.1％を占めて最多です。男女別では、男性は第２次産業が 42.2％、第３次産業が 41.7％でほぼ同率、女性は第３次産業が 63.5％で最多です。

○産業別就業者数（R2.10.1 現在）　（単位：人）

区　分	男　性	女　性	総　計
総数	4,587	3,439	8,026
第１次産業	734	433	1,167
農業	672	420	1,092
林業	52	7	59
漁業	10	6	16
第２次産業	1,938	821	2,759
鉱業	6	1	7
建設業	526	86	612
製造業	1,406	734	2,140
第３次産業	1,915	2,185	4,100
電気・ガス・熱供給・水道	10	2	12
情報通信業	20	6	26
運輸・郵便業	266	39	305
卸売・小売業	446	549	995
金融・保険業	25	50	75
不動産業・物品賃貸業	25	13	38
学術研究,専門・技術サービス業	92	37	129

宿泊業・飲食サービス業	116	220	336
生活関連サービス業，娯楽業	160	237	397
教育・学習支援業	104	186	290
医療・福祉	153	622	775
複合サービス事業	86	48	134
サービス業（他に分類されない）	233	107	340
公務（他に分類されない）	179	69	248

（資料：国勢調査）

（8）子ども人口の推計

本計画の目標年度である、令和７年の子ども人口（0～11 歳人口）を推計するにあたって、過去５か年における４月１日時点の人口（住民基本台帳）をもとに、コーホート変化率法を用いて令和７年～令和 11 年の各年４月１日時点の将来人口を推計しました。

変化率で増加する年齢もありますが、合計では引き続き減少していくと推計されます。

○人口推計　（単位：人）

年次／年齢	R5（基準年）	R6（実績値）	R7（推計値）	R8（推計値）	R9（推計値）	R10（推計値）	R11（推計値）
０歳	41	29	39	39	39	38	37
１歳	53	45	31	42	42	42	41
２歳	61	52	46	32	43	43	43
小計	155	126	116	113	124	123	121
３歳	73	64	52	46	32	43	43
４歳	52	71	64	53	47	33	44
５歳	63	51	71	64	53	47	33
小計	188	186	187	163	132	123	120
６歳	64	63	51	71	64	53	48
７歳	79	64	63	51	71	64	53
８歳	85	80	65	64	52	72	65
９歳	83	85	80	65	64	52	72
10 歳	84	82	85	80	65	64	53
11 歳	102	86	82	85	80	65	64
小計	497	460	426	416	396	370	355
合　計	840	772	729	692	652	616	596

※コーホート変化率法：特定の社会的集団（年齢階層別男女人口）毎に人口予測を行う方法で、自然増減要因と社会増減要因を区別せず、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

３．計画の基本的な考え方

本町では、平成２７年に策定した「那珂川町子ども・子育て支援プラン」及び令和２年に策定した「第２次那珂川町子ども・子育て支援プラン」において、次世代育成支援対策推進法に基づく内容も盛り込み、これら２つの子育て支援プランを「那珂川町次世代育成支援対策行動計画」としても位置付けてきました。

この２つのプランで掲げた子ども・子育て支援に係る事業については、社会情勢や子育て家庭を取り巻く環境の変化に対応すべく、それぞれの計画期間の中間年度において、プランに掲げる施策の進捗状況や課題等を点検、評価し、その結果を残りの計画期間の取り組みに反映させ実施してきました。

本プランについても、引き続き子ども・子育て支援法第６１条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画に位置付けるとともに、次世代育成支援対策推進法第８条に基づく市町村行動計画に位置付けた計画とし、前プランの取り組みを点検、評価し、取組事業の一部を修正するとともに、新たな取り組みを盛り込み策定します。

また、令和元年６月に改正された子どもの貧困対策の推進に関する法律（現在のこどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律）第１０条第２項に基づく市町村計画について、本プランに内包する形で策定し、これまで以上にこどもの貧困の解消に向けた対策を推進していきます。

◎基本理念

- ◆　子どもの人権・権利が最大限に尊重されるよう配慮し、子どもの視点に立った取組を進めていきます。
- ◆　毎日の子育てを通して、親自身の成長も求められます。そのためには、すべての親が、心身ともにゆとりをもって子育てができるよう、「サービスを受ける機会」及び「学習の機会」を誰もが受けられるよう支援していきます。

  また、次代の親となる若い男女が子どもを生み育てたいと思えるよう、乳幼児との触れ合いを通して、子育ての楽しさやすばらしさを体験することができるよう支援します。
- ◆　すべての家庭が安心して子育てできるよう、地域全体で子育て家庭を支えていきます。

  また、子育て家庭が抱える子どもの発達や生活環境など様々な不安感や負担感の軽減を図り、お互いが助け合いながら子育てのできる地域づくりと、そのためのネットワークづくりを地域全体で推進していきます。



○施策の体系

【目指すべきすがた】

豊かな自然と愛情に包まれて子どもがすくすく育つまち

基本目標

子育てを社会全体で支える環境づくり	安心して子どもを生み育てられる環境づくり	子どもを慈しむ社会づくり

（施策の方向）	（具体的施策）
地域における子育て支援	① 地域における子育て支援サービスの充実 ② 保育サービスの充実 ③ 子育て支援のネットワークづくり ④ 子どもの健全育成 ⑤ 地域における人材育成
母性並びに乳幼児等の健康確保増進	① 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策 ② 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実 ③「食育」の推進 ④ 小児医療の充実
子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	① 次代の親の育成 ② 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備 ③ 家庭や地域の教育力の向上 ④ 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 ⑤ 不登校児童・生徒への支援
子育てを支援する生活環境の整備	① 快適な住宅の確保 ② 安心して遊べる環境の整備 ③ 安全な道路交通環境の整備 ④ 安心して外出できる環境の整備 ⑤ 安全・安心まちづくりの推進等
職業生活と家庭生活との両立の推進	① 仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し ② 仕事と子育ての両立のための基盤整備
要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進	① 児童虐待防止対策の充実 ② ひとり親家庭の自立支援の推進 ③ 障害児施策の充実等 ④ こどもの貧困の解消に向けた対策
婚活サポートの推進	① 結婚相談所事業の推進 ② 婚活推進事業の充実

４．具体的施策の展開

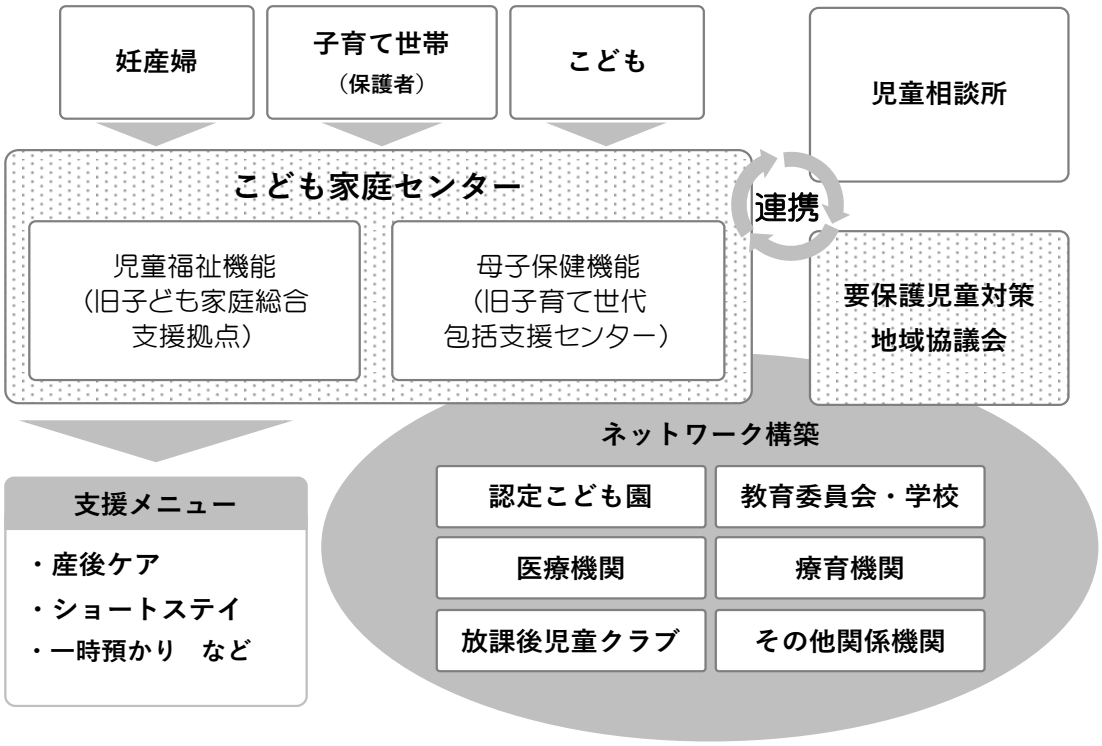
（１）地域における子育て支援

①地域における子育て支援サービスの充実

社会全体で子育てを支援していく観点から、本町における様々な子育て支援サービスの充実を図ります。

事業名	内容	担当
子育て相談	多様化する相談内容に対応するため、専門職員の配置、対応する職員の能力向上など、相談体制の強化を図ります。また、関係機関・部局の連携を強化し、相談者が必要とする支援の実施につなげます。	子育て支援課 学校教育課
子育て支援に関する情報提供	町内の子育て関連情報を集約したデジタル冊子を作成し提供するとともに、子育て支援アプリやホームページ等を通じて情報提供の充実を図ります。	子育て支援課
子育て支援センター事業	子育て支援センターわかあゆを運営し、子育て支援の充実を図ります。	子育て支援課
ファミリーサポートセンター事業	事業の周知を図り、新規会員の確保に努めるとともに、有効なサービスの形について調査・研究を進めます。	子育て支援課
こども家庭センター事業	妊産婦や子ども、子育て世帯に対して、一体的な相談支援を行うことで、妊娠期や乳幼児期の状況を継続的かつ包括的に把握し、必要な支援につなぎます。 支援にあたっては、保健師や社会福祉士、臨床心理士などの専門性を活かし、各種支援のサポートプランを作成しながら切れ目のない支援を提供します。（図１参照）	子育て支援課
母子保健推進員活動	母子保健推進員の活動を推進し、妊娠から出産、育児に係る地域の相談・支援体制の充実を図ります。	子育て支援課
主任児童委員活動	主任児童委員活動を推進し、児童虐待や子育てに関する相談・支援の充実に努めます。	健康福祉課

《図1》こども家庭センターの推進体制



②保育サービスの充実

保護者の多様な保育需要に対応できるよう、保育サービスの提供体制の整備・充実を図るとともに、保育教諭の専門性を確保することにより保育サービスの質の向上に努めます。

事業名	内容	担当
通常保育事業	幼保連携型認定こども園を運営し、２号認定・３号認定子どもの保育を行います。	子育て支援課
延長保育事業	保護者のニーズに対応するため、町立認定こども園２園において事業を実施します。	子育て支援課
一時預かり事業	保護者のニーズに対応するため、町立認定こども園２園において事業を実施します。	子育て支援課
乳児保育事業	保護者のニーズに対応するため、町立認定こども園２園において事業を実施します。	子育て支援課
子育て短期支援事業（ショートステイ）	保護者のニーズに対応するため、児童養護施設等と委託契約を締結し、十分な受け入れ先の確保に努めます。	子育て支援課
病児・病後児保育事業	対応可能な保育園や医療機関等への委託について、推進を図ります。	子育て支援課

障害児保育	発達障害などがある子どもにも対応できるよう、保育教諭の資質の向上、及び保育教諭の確保に努めます。	子育て支援課
保育教諭研修	専門職である保育教諭としての資質の向上を図るため、各種研修に参加するほか、独自に園内研修会等を実施します。	子育て支援課 学校教育課 総務課

③子育て支援のネットワークづくり

各種の子育て支援サービス等が、利用者に十分周知されるよう情報提供に努めるとともに、地域住民の多くが子育てへの関心・理解を高め、地域全体で子育て家庭を支えることができるよう、子育てに関する意識啓発等を推進します。

事業名	内容	担当
子育て支援に関する情報提供（再掲）	町内の子育て関連情報を集約したデジタル冊子を作成し提供するとともに、子育て支援アプリやホームページ等を通じて情報提供の充実を図ります。	子育て支援課

④子どもの健全育成

地域住民の協力を得ながら、地域において子どもが自主的に参加し、自由に遊べ、学習や様々な体験活動、地域住民との交流活動等を行うことができる安全・安心な居場所づくりを進めます。

また、保護者が就労等により日中家庭にいない小学生に対し、放課後の遊び・生活の場を提供します。

事業名	内容	担当
放課後児童クラブ運営事業	馬頭・小川放課後児童クラブを運営し、就労等により保護者が日中家庭にいない小学生の健全育成を図ります。また、各種研修等への参加により、指導員の資質の向上を図ります。	子育て支援課
放課後児童クラブ整備事業	利用児童にとって安全で快適な環境を提供するため、老朽化した放課後児童クラブ施設の整備・充実を図ります。	子育て支援課
主任児童委員活動（再掲）	主任児童委員の活動を推進し、児童虐待や子育てに関する相談・支援の充実に努めます。	健康福祉課
青少年指導員活動	青少年指導員を配置し、地域の青少年の健全育成に努めます。	生涯学習課

青少年育成協会支援事業	町青少年育成協会を通じ、青少年の主体性と創造性を育み、社会全体で青少年の健全育成に取り組みます。	生涯学習課
公民館活動	自然体験活動やボランティア団体育成などを実施し、青少年の健全育成に努めます。	生涯学習課
図書館事業	子どもたちの発達段階に応じた読書活動を推進するとともに、読書への関心を高める啓発・広報活動を推進します。	生涯学習課
文化振興事業	小中学校と協力し優れた音楽や演劇、伝統文化や地域の歴史などに触れる機会を創出し、子どもの豊かな心や感性、創造性等の育成を図ります。	生涯学習課
スポーツ振興事業	スポーツイベントやスポーツ教室の開催、団体への助成により、子どもたちのスポーツの振興とともに、体力の向上に努めます。	生涯学習課

⑤地域における人材育成

認定こども園等における子育て支援のみならず、地域のニーズに応じた支援を充実させるため、育児経験豊富な方々を中心とした人材の育成と効果的な活用を図ります。

事業名	内容	担当
子育て支援センター事業（再掲）	子育て支援センターわかあゆを運営し、子育て支援の充実を図ります。	子育て支援課
ファミリーサポートセンター事業(再掲)	事業の周知を図り、新規会員の確保に努めるとともに、有効なサービスの形について調査・研究を進めます。	子育て支援課
母子保健推進員活動（再掲）	母子保健推進員の活動を推進し、妊娠から出産、育児に係る地域の相談・支援体制の充実を図ります。	子育て支援課

（２）母性並びに乳幼児等の健康確保増進（母子保健対策の充実）

①切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策

妊娠期、出産期、新生児期及び乳幼児期を通じて、妊産婦や保護者の相談にこども家庭センターが対応するとともに、妊産婦や乳幼児等に対して切れ目のない支援が確保されるよう母子保健施策の充実を図ります。

また、父親に対する働きかけや育児に関する学びの場の提供に努めます。

事業名	内容	担当
不妊等治療費助成事業	不妊・不育治療を行っている夫婦に対し、治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。	子育て支援課
産前産後サポート事業	妊産婦の負担を軽減するサービスを提供するとともに、気軽に利用できる親子のふれあいの場、父親・母親同士の交流の場、子育てに関する相談の場の確保に努めます。	子育て支援課
産後ケア事業	産後の母親の育児不安・体調不良等を軽減するために、医療機関と連携し支援します。	子育て支援課
母子健康手帳交付事業	妊産婦及び乳幼児の健康管理のため、妊娠届により母子健康手帳を交付します。 また、父母や家族などを対象にした面談を実施します。	子育て支援課
妊産婦健康診査費用助成事業	妊娠健康診査（全 14 回）と産婦健康診査産（全 2 回)、健診費用の一部を助成し、定期的な妊産婦健康診査の受診を勧めるとともに、経済的負担の軽減を図ります。	子育て支援課
新生児聴覚検査費用助成事業	出産後、産院等で行う新生児聴覚検査の費用を助成します。	子育て支援課
１ヵ月児健診費用助成事業	生後おおむね１ヵ月を経過した乳児の身体発育状況や栄養状態等を確認する健康診査費用の一部を助成します。	子育て支援課
妊産婦医療費助成事業	妊産婦に係る疾病の早期発見と早期治療を促進するとともに、経済的負担の軽減を図るため、医療費を助成します。	子育て支援課
乳児家庭全戸訪問事業	生後２か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、養育環境等の把握を行うとともに、子育てに関する情報提供等を行います。	子育て支援課
育児パッケージ贈呈事業	出産のお祝い品として那珂川町オリジナルパッケージを贈呈します。	子育て支援課
乳幼児歯科衛生事業	認定こども園の巡回指導等により、むし歯の予防を図るとともに、普及・啓発に努めます。	子育て支援課

養育支援訪問事業	様々な原因により養育支援が必要な家庭に対し、居宅を訪問し、必要な助言、指導等を行います。	子育て支援課
発達障害児支援事業	関係機関等と連携し、発達相談等を通じ、発達障害児等への早期アプローチに努めます。	子育て支援課 健康福祉課
乳幼児健康診査・相談事業	乳幼児の健康管理、発達の状況、障害の有無等を確認し、栄養指導や食生活に関する指導等、父母に適切な指導・助言を行います。	子育て支援課
予防接種事業	感染症のまん延及び予防のため、各種予防接種の接種率の向上に努めます。	子育て支援課

②学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実

１０代の自殺や性、不健康やせ等の思春期における問題に対応するため、保健対策の充実を図ります。

事業名	内容	担当
スクールカウンセラー配置事業	スクールカウンセラーを配置し、児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能の充実を図ります。	学校教育課
小児生活習慣病予防教室	小中学生を対象に将来起こりうる生活習慣病を予防するため、規則正しい生活や栄養バランスのとれた食事を取ることの大切さを学ぶ教室を開催します。	子育て支援課
思春期教室	小中学生を対象に、性に関する正しい知識を持ち、生命の大切さを認識できるよう思春期教室を開催します。	子育て支援課
薬物乱用防止事業	薬物に関する正しい知識を身につけ、薬物を使用することの無いよう普及・啓発に努めます。	健康福祉課 学校教育課

③「食育」の推進

乳幼児期からの正しい食事の摂り方や、望ましい食習慣の定着、食を通じた豊かな人間性と家庭関係の形成などによる心身の健全育成を図るため、乳幼児期から思春期まで発達段階に応じた食に関する学習の機会や情報提供を進めます。

事業名	内容	担当
乳幼児健康診査・相談事業（再掲）	乳幼児の健康管理、発達の状況、障害の有無等を確認し、栄養指導や食生活に関する指導等、父母に適切な指導・助言を行います。	子育て支援課
小児生活習慣病予防教室（再掲）	小中学生を対象に将来起こりうる生活習慣病を予防するため、規則正しい生活や栄養バランスのとれた食事を取ることの大切さを学ぶ教室を開催します。	子育て支援課
個別栄養相談	管理栄養士による、一人ひとりの状態に合わせた栄養相談を行います。	子育て支援課

④小児医療の充実

保護者が安心して子どもを産み、健やかに育てることができるよう、小児医療の充実・確保に努めます。

事業名	内容	担当
こども医療費助成事業	疾病の早期治療促進と経済的負担の軽減を図るため、高校３年生相当までの子どもに係る医療費について、現物給付により助成します。	子育て支援課

（３）子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

①次代の親の育成

男女が協力して家庭を築くことや子どもを産み育てることの意義に関する教育・広報・啓発に努めます。

事業名	内容	担当
思春期教室（再掲）	小中学生を対象に、性に関する正しい知識を持ち、生命の大切さを認識できるよう思春期教室を開催します。	子育て支援課
乳幼児ふれあい体験	マイチャレンジ事業等により乳幼児とふれあい、子育ての楽しさや命の大切さを感じられる機会を創出します。	学校教育課

②子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

次代の担い手である子どもが、個性豊かに生きる力を伸長することができるよう、確かな学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成、地域とともにある学校づくり等の取組により、教育環境等の整備に努めます。

事業名	内容	担当
認定こども園運営事業	幼保連携型認定こども園を運営し、１号認定子どもの幼児教育の提供を行います。	子育て支援課
認定こども園整備事業	子どもたちにとって安全で快適な教育・保育環境を提供するため、老朽化した町立認定こども園施設の整備充実を図ります。	子育て支援課
こ・小・中連携	認定こども園の卒園児がスムーズに小学校生活に適応できるよう、対象児童に関する情報を共有するなど、小学校・中学校との連携を深め、支援体制の整備を図ります。	子育て支援課 学校教育課

③家庭や地域の教育力の向上

学校・家庭・地域がそれぞれの役割・責任を自覚し、連携・協力し、地域全体で子どもを育てる観点から、家庭や地域の教育力を総合的に高め、社会全体の教育力の向上を目指します。

事業名	内容	担当
家庭教育学級・幼児教育学級事業	保護者が子育てに関する諸問題、家庭教育、家庭の在り方等について学ぶ機会を作り、家庭の教育力の向上を図ります。	生涯学習課
家庭教育オピニオンリーダー養成事業	地域における家庭教育の支援を充実するため、家庭教育オピニオンリーダーの養成に努めます。	生涯学習課

④子どもを取り巻く有害環境対策の推進

性や暴力、薬物等に関する過激な内容や表現を含むメディア等について、関係機関やＰＴＡ等と連携・協力して、関係業界に自主的措置を働きかけます。また、子どもがインターネットを適切かつ安全に利用できるよう、フィルタリング等の普及啓発を推進します。

（担当：学校教育課、生涯学習課）

⑤不登校児童・生徒への支援

各小中学校及び関係機関等と連携し、不登校児童・生徒に対して家庭以外の居場所を提供し、また他者との交流もできるよう、社会的自立に向けたきめ細かな支援を行います。

事業名	内容	担当
のんびりカフェ事業	不登校児童・生徒を対象に多世代との交流を楽しみながら、個々の思いに寄り添って過ごせる空間を提供します。	健康福祉課
不登校対策事業	不登校児童・生徒の学びの保障と居場所の確保のため、教育支援センター等における機能の充実を図ります。	学校教育課

（4）子育てを支援する生活環境の整備

①快適な住環境の確保

子育て世代の住宅に係る経済的負担の軽減を図るとともに、様々な住宅需要に対応するため、住環境の整備・運営を図ります。

事業名	内容	担当
分譲宅地造成事業	安心して子育てができる住宅取得のため、分譲宅地の造成を計画します。	企画財政課
移住定住促進事業	移住可能な空き家の情報を提供するとともに、入居の際に必要な改修の費用を補助し、住環境の充実を図ります。	企画財政課
子育て支援住宅事業	子育てしやすい設計・設備を整備した子育て支援住宅を運営することで、安全安心な環境を提供し、経済的負担の軽減を図ります。	子育て支援課

②安心して遊べる環境の整備

子育て世帯が、地域において、互いに楽しく、安心して遊ぶことのできる環境の整備に努めます。

事業名	内容	担当
公園管理事業	老朽化した施設の再整備を行い、利用者にとって安全で安心な公園づくりに努めます。	建設課
室内型施設設置事業	天候等に関わらず子どもたちが安心して遊べる室内型施設の設置について、他の公共施設との併設なども含めて検討します。	子育て支援課 関係部署

③安全な道路交通環境の整備

生活道路等において、歩道の設置、看板の設置等により、安全・安心な道路空間を創出します。また、警察署等と連携し、交通安全の普及啓発に努めます。

事業名	内容	担当
町道整備事業	安全・安心な道路交通環境の整備に努めます。	建設課
町道維持管理事業	安全・安心な道路交通環境を確保するため、生活道路等の維持管理に努めます。	建設課
交通安全対策事業	警察署等の関係機関と連携を図り、交通安全の普及啓発に努めます。	総務課

④安心して外出できる環境の整備

妊産婦、乳幼児連れの人が安心して外出できるよう公共施設等のバリアフリー化を推進します。また、バリアフリー施設や子育て世帯にやさしいトイレ等の整備状況について、情報提供します。

事業名	内容	担当
子育て支援に関する情報提供（再掲）	町内の子育て関連情報を集約したデジタル冊子を作成し提供するとともに、子育て支援アプリやホームページ等を通じて情報提供の充実を図ります。	子育て支援課

⑤安全・安心まちづくりの推進等

関係機関等と連携し、子どもが犯罪等の被害にあわないようなまちづくりを推進します。

事業名	内容	担当
防犯灯設置事業	地域の夜間における安全を確保するため、防犯灯を設置し、適正な維持管理に努めます。	総務課
スクールガードリーダー事業	スクールガードリーダーを配置し、通学路等で犯罪に巻き込まれることのないよう、子どもの安全確保に努めます。	学校教育課

（５）職業生活と家庭生活との両立の推進

①仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

仕事と生活の調和した社会を実現するため、関係機関等と密接に連携・協力しながら、認定マーク（くるみんマーク※）の周知を図るなど、事業所や労働者、町民への広報・啓発を推進します。

※「くるみんマーク」とは…

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業に対して、厚生労働大臣が「子育

てサポート企業」として認定するもの。

（担当：子育て支援課、産業振興課）

②仕事と子育ての両立のための基盤整備

保育サービスの充実、放課後児童クラブの充実、ファミリーサポートセンター事業の充実等、保護者の多様な働き方に対応した子育て支援策を実施します。

（担当：子育て支援課）

（６）要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進

①児童虐待防止対策の充実

養育支援を必要とする家庭を早期に把握し、地域の子育て支援を活用して虐待を予防するほか、虐待の早期発見、早期対応に努め、児童相談所の権限や専門性を要する場合には、遅滞なく介入を求められるよう、関係機関等との連携を強化します。

事業名	内容	担当
要保護児童対策地域協議会運営事業	関係機関等と要保護児童対策地域協議会を組織し、要保護児童に関する実態把握、情報共有を図るとともに、対応策の検討を行います。	子育て支援課
児童虐待防止広報・啓発事業	オレンジリボンの着用、チラシ配布、ホームページ等により、児童虐待の防止に関する広報・啓発を推進します。	子育て支援課
児童虐待防止研修事業	関係機関に対して、児童虐待に関する研修等を実施し、地域全体で虐待を防止する意識の向上を図ります。	子育て支援課
支援対象児童等見守り強化事業	特定の児童に対して、要保護児童対策地域協議会と関係機関等が連携して必要な支援につなげ、配食事業などを通じて見守りを強化します。	子育て支援課

②ひとり親家庭の自立支援の推進

ひとり親家庭の子どもの健全育成を図るため、きめ細かな福祉サービスの展開と自立・就業支援に主眼を置き、子育て・生活支援策、就業支援策、養育費の確保及び経済的支援策について、関係機関等と連携して総合的な対策を適切に実施していきます。

事業名	内容	担当
児童扶養手当（栃木県事業）	ひとり親家庭の生活の安定を図るため、18 歳（高校３年生相当）の年度末までの子どもを養育する保護者に所定の額を給付します。	子育て支援課
ひとり親家庭医療費助成事業	ひとり親家庭の医療費負担の軽減を図るため、保護者に対する医療費の助成を行います。	子育て支援課

③障害児施策の充実等

障害児の発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるようにするため、適切な医療及び療育の提供に努めるとともに、保健、医療、福祉、教育等の各種施策の連携により、在宅支援の充実、就学支援を含めた支援体制の整備などの取組を推進します。

特に発達障害がある子どもへの支援のためには、乳幼児健診や保育の現場において、発達の遅れや障害を早期に発見できる体制づくりが重要となるため、発達相談や早期療育などの事業を充実させていきます。

さらに、発達障害を含む障害がある子どもについては、障害の状態に応じて、その可能性を最大限に伸ばし、子どもが自立して社会参加できる力を培うため、一人一人のニーズに応じた適切な支援の充実を図ります。

事業名	内容	担当
障害児保育（再掲）	発達障害などがある子どもにも対応できるよう、保育教諭の資質の向上、及び保育教諭の確保に努めます。	子育て支援課
乳幼児健康診査・相談事業（再掲）	乳幼児の健康管理、発達の状況、障害の有無等を確認し、栄養指導や食生活に関する指導等、父母に適切な指導・助言を行います。	子育て支援課
発達障害児支援事業（再掲）	関係機関等と連携し、発達相談等を通じ、発達障害児等の早期アプローチに努めます。	子育て支援課 健康福祉課
児童発達支援事業	集団療育や個別療育を必要とする未就学児に、日常生活の動作指導、知識や能力向上のための訓練や支援を行います。	健康福祉課
放課後等デイサービス事業	就学している子どもに生活能力の向上の訓練や社会との交流を促す等の支援を行います。	健康福祉課

④こどもの貧困の解消に向けた対策

経済面での支援を要する子どもや妊産婦及びその家庭に対して、社会的に孤立する

ことがないよう、関係機関や団体と連携し、適時適切な支援の実施を図ります。

事業名	内容	担当
こども家庭センター事業（再掲）	妊産婦や子ども、子育て世帯に対して、一体的な相談支援を行うことで、妊娠期や乳幼児期の状況を継続的かつ包括的に把握し、必要な支援につなぎます。 支援にあたっては、保健師や社会福祉士、臨床心理士などの専門性を活かし、各種支援のサポートプランを作成しながら切れ目のない支援を提供します。	子育て支援課
生活困窮者自立支援事業（栃木県事業）	生活困窮家庭の自立のため、専門の支援員が相談を受けて関係機関と調整し、適切なサービスにつなげ支援します。	健康福祉課
就学援助費支給事業	要保護者及び準要保護者に認定された保護者の負担軽減のため、学用品費や修学旅行費等の必要額を支給します。	学校教育課
奨学金給付・貸与事業	高校や大学等への進学にあたって、那珂川町奨学生選考委員会の審査の結果選考された児童生徒に対して、一定期間の所定額給付・貸与を行います。	学校教育課

（7）婚活サポートの推進

①結婚相談所事業の推進

町内在住の独身者の婚活（交際や結婚に向けた活動）をサポートするため、結婚相談所事業を推進します。

事業名	内容	担当
結婚相談所運営補助事業	コミュニケーション力向上等のセミナーや他者との出会いの場を提供するイベントなど、参加者にとって充実した内容が提供されるよう、結婚相談所が行う事業に係る費用を補助します。	子育て支援課

②婚活推進事業の充実

町内在住の独身者が、地域での婚活イベントや他の結婚サポーターが開催するイベントなどの情報を取得できるよう、とちぎ結婚支援センターへの登録を推進し、婚活

推進事業の充実を図ります。

事業名	内容	担当
とちぎ結婚支援センター登録費補助事業	公益財団法人とちぎ未来づくり財団とちぎ未来クラブが運営するとちぎ結婚支援センターへの入会に要する経費の一部を補助します。	子育て支援課

５．量の見込みと提供体制

（１）教育・保育提供区域の設定

区域設定については、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して、小学校区単位、中学校区単位、行政区単位等、地域の実情に応じて、保護者や子どもが居宅より容易に移動することが可能な区域（以下「教育・保育提供区域」という。）を定める必要があります。

本町では、多くの住民が自家用車により容易に町内を移動できることから、例示された区域を越えて教育・保育施設を利用している状況にあります。今後も、利用者の利便性を確保することと、利用者のニーズに柔軟に対応できるようにするため、町全域を一つの区域として設定することとします。

（２）幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制の確保

各年度の量の見込みは、現在の２つの町立認定こども園の定員以下です。また、町内においては、特定地域型保育事業を実施している事業所は、現時点ではありません。

これに対する提供体制の確保については、基本的には特定教育・保育施設（町立認定こども園２園）で対応することとしますが、０歳及び１歳では一部の年度で定員が不足することから、当該不足部分に対しては、現在の利用状況を鑑みて、広域入所（町外の教育・保育施設）により対応することとします。

なお、今後の特定教育・保育施設の整備にあたっては、量の見込みに対応する定員及び施設規模を設定し実施することとなります。

特定地域型保育事業については、利用希望の状況を把握しつつ、民間活力の導入による実施を検討します。

用語解説

特定教育・保育施設…子ども・子育て支援新制度に移行した認定こども園や保育所等

特定地域型保育事業…家庭的保育や小規模保育、事業所内保育などの事業

広域入所…居住する自治体以外の自治体に在する特定教育・保育施設に入所すること

■町立認定こども園の定員と量の見込み（単位：人）

利用可能施設	施設定員	量の見込み				
		令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
幼保連携型認定こども園	３６０	２７９	２５３	２３１	２２２	２１７

■年度別量の見込みと提供体制（単位：人）

年度		令和7年度					令和8年度				
支給認定区分		1号	2号		3号			1号	2号		3号		
			幼稚園	左記以外	0歳	1歳	2歳		幼稚園	左記以外	0歳	1歳	2歳
量の見込み		22	165		27	27	38	19	144		27	36	27
提供体制	特定教育・保育施設	68	182		25	31	54	68	182		25	31	54
	特定地域型保育事業	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0
	広域入所	0	0		5	5	0	0	0		5	5	0
	計	68	182		30	36	54	68	182		30	36	54

年度		令和9年度					令和10年度				
支給認定区分		1号	2号		3号			1号	2号		3号		
			幼稚園	左記以外	0歳	1歳	2歳		幼稚園	左記以外	0歳	1歳	2歳
量の見込み		16	116		27	36	36	15	108		27	36	36
提供体制	特定教育・保育施設	68	182		25	31	54	68	182		25	31	54
	特定地域型保育事業	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0
	広域入所	0	0		5	5	0	0	0		5	5	0
	計	68	182		30	36	54	68	182		30	36	54

年度		令和11年度				
支給認定区分		1号	2号		3号	
			幼稚園	左記以外	0歳	1歳	2歳
量の見込み		14	106		26	35	36
提供体制	特定教育・保育施設	68	182		25	31	54
	特定地域型保育事業	0	0		0	0	0
	広域入所	0	0		5	5	0
	計	68	182		30	36	54

（3）地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

①利用者支援事業

子ども及びその保護者が、教育・保育施設や地域子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所で情報提供や相談・助言等を行い、関係機関との連絡調整を実施する事業です。

本町では、子育て支援センターわかあゆにおいて利用者の支援（基本型）にあたるとともに、こども家庭センター事業により妊娠期からの切れ目のない支援を行うこととし

ます。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：箇所）

年度		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み		2	2	2	2	2
提供体制		2	2	2	2	2
	基本型	1	1	1	1	1
	こども家庭センター	1	1	1	1	1

②時間外保育事業（延長保育事業）

保護者の就労の都合などで、保育短時間認定（８時間）を超えて継続的に保育が必要な場合や、一時的に保育時間の延長が必要な場合に利用する事業です。

現在、利用者の利便性向上を図るため、２つの町立認定こども園で延長保育の実施をしています。また、さらなる保育時間の延長については、令和６年６月に実施したニーズ調査の結果等を参考に検討します。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：実人/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	２５	２３	２２	２１	２０
提供体制	２５	２３	２２	２１	２０

③放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ運営事業）

就労等の理由により、保護者が日中自宅にいない小学生に対して、放課後の居場所を提供する事業です。

馬頭小学校と馬頭東小学校の児童を対象にした馬頭放課後児童クラブ（支援単位は２単位）と、小川小学校の児童を対象にした小川放課後児童クラブ（支援単位は２単位）の２か所を運営しており、定員数は合計１６０人（１支援単位あたり４０人×４単位）であることから、量の見込みに対して対応可能です。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：人）

年度		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	低学年児	７７	８０	８１	８１	７２
	高学年児	６７	６２	５７	４９	５１
	計	１４４	１４２	１３８	１３０	１２３
提供体制		１６０	１６０	１６０	１６０	１６０

④子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者が疾病等で一時的に子どもの養育が困難な場合に、児童養護施設等で子どもを保育・養育する事業です。

本町には児童養護施設等が無いため、さくら市の児童養護施設（２箇所）と委託契約を締結し事業を実施しています。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：延べ人日/年）

年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	７２	６６	６１	５９	５８
提供体制	７２	６６	６１	５９	５８

⑤乳児家庭全戸訪問事業

生後２ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、保護者の様々な不安や悩みを聞いて、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握・助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスを提供できるよう関係各署と調整・連携する事業です。

現在は、町保健師が乳児のいる全ての家庭を訪問できています。引き続き、全戸訪問の達成と、事業の効果的な実施に努めます。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：人/年）

年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	３９	３９	３９	３８	３７
提供体制	３９	３９	３９	３８	３７

⑥養育支援訪問事業

子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な原因で養育支援が必要となっている家庭に対して、養育に関する指導助言等を訪問により実施する事業です。

乳児家庭全戸訪問事業などにより、対象者を把握し、支援を実施しています。引き続き、対象者の早期発見および適切な支援の実施に努めます。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：人日/年）

年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	２０	２０	２０	１９	１９
提供体制	２０	２０	２０	１９	１９

⑦地域子育て支援拠点事業

乳幼児（未就学児）及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

現在は子育て支援センターわかあゆで実施しており、量の見込みに対しては対応可能です。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：延べ人日/月）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	１４９	１４５	１５９	１５８	１５５
提供体制	１４９	１４５	１５９	１５８	１５５
（箇所）	1	1	1	1	1

⑧一時預かり事業（在園児対象型）

１号認定こどもの教育時間の開始前や終了後、夏休みなどの認定こども園休業日に園児を預かる事業です。

現在、町立認定こども園２園において実施しており、量の見込みに対しては対応可能です。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：延べ人日/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み　（1号認定による利用）	１０	１０	9	9	8
提供体制	１０	１０	9	9	8

⑨一時預かり事業（在園児対象型を除く）

仕事、疾病、用事等の理由により、保護者が一時的に家庭で保育できない場合に子どもを預かる事業です。

現在は、町立認定こども園２園で実施しており、量の見込みに対しては対応可能です。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：延べ人日/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	２０	１９	１７	１７	１６
提供体制	２０	１９	１７	１７	１６

⑩病児・病後児保育事業

病気中の子ども（病児）や病気回復期の子ども（病後児）が、教育・保育施設に登園することができなかった場合もしくは保護者による保育ができない場合などに、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育を行う事業です。

現在、町内に病児・病後児保育を実施している施設はありませんが、那須烏山市及び大田原市の各１施設に委託し、両市内の該当施設で保育できることから、量の見込みに対しては対応可能です。今後は、令和６年６月に実施したニーズ調査の結果等を参考に、対応可能な医療機関等への委託を検討します。

■年度別量の見込みと提供体制（延べ人日/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	７２	６５	６１	５８	５７
提供体制	７２	６５	６１	５８	５７

⑪ファミリーサポートセンター事業（就学児）

育児等に係る支援を依頼したい会員（依頼会員）に対して、子育て経験者等で当該支援が可能な提供会員が、有料で支援を行う事業です。

本町では、子育て支援センターわかあゆ内にファミリーサポートセンターを設置しており、支援を希望する会員に適切な支援が実施されるよう、提供会員の確保に努めます。また、令和６年６月に実施したニーズ調査の結果を参考に、従来の形式に捉われない円滑な事業実施の方法を検討します。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：延べ人回/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	5	5	7	7	10
提供体制	5	5	7	7	10

⑫妊婦健康診査

妊婦の健康管理の充実や経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができるよう、医療機関で受ける妊婦健康診査（医学的検査を含む）にかかる費用のうち一定の額を公費で負担する事業です。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：人回/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	546	546	546	532	518
提供体制	546	546	546	532	518

⑬子育て世帯訪問支援事業

こども家庭センター等で支援している子育て世帯に対して、必要に応じて家事支援や送迎支援、相談・助言支援など行う事業です。

実施にあたっては、社会福祉法人等の事業者に委託し、適切な支援の実施を推進します。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：人日/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	20	20	20	20	20
提供体制	20	20	20	20	20

⑭妊婦等包括相談支援事業

妊婦や産婦に対して面談や訪問などを実施することにより、妊婦や産婦の心身の状況や産後の養育環境などを把握するほか、母子保健や子育て支援に関する情報提供や相談

などの援助を行う事業です。

実施にあたっては、町保健師による適切な支援の実施を推進します。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：人回/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	117	117	117	114	111
提供体制	117	117	117	114	111

⑮乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

６か月以上満３歳未満の子どものうち、子どものための教育・保育給付を受けていない（認定こども園や保育所に入園していない）子どもに対して、保護者の就労などの要件を問わず、月一定の時間内で認定こども園や保育所などの特定教育・保育施設を自由に利用できる事業です。

この事業は、令和８年度から全国の自治体で実施することとされていることから、本町においても令和８年度から町立認定こども園２園で事業を開始することとします。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：延べ人日/月）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	―	4	4	4	4
提供体制	―	4	4	4	4

⑯産後ケア事業

退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する事業です。

現在、委託先の医療機関と連携し、十分に情報共有を行いながら、母子の支援を行っています。

■年度別量の見込みと提供体制（単位：延べ人日/年）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	39	39	39	38	37
提供体制	39	39	39	38	37

６．計画の推進体制

（１）計画の進捗管理

本計画に基づく施策を推進するため、那珂川町子ども・子育て会議において、毎年度、事業の実施状況等について点検・評価します。ＰＤＣＡサイクル（計画・実行・評価・改善）に基づき、計画の推進に努め、事業の進捗状況を管理・評価するにあたっては、利用者の視点に立ち、個別事業の進捗状況に加え、計画全体の成果についても点検・評価し、施策の改善につなげます。

また、「量の見込み」や「提供体制」等について、計画との差異が大きい場合は、必要に応じて計画の見直しを実施します。

（２）町民・関係団体等との連携

子育てを社会全体で支援していくためには、行政のみならず、教育・保育施設関係者、小中学校、その他子育てに関わる団体や関係機関を含めて、社会全体が連携・協働することが必要です。

本計画の推進にあたっては、認定こども園をはじめ、関係団体・関係機関等との連携を深め、情報の共有化を図りながら、事業の推進・調整を行います。

また、家庭・地域・学校・企業・行政等それぞれの主体が、子育てや子どもの健全育成に対する責任や自ら果たすべき役割を認識して互いに協力することにより、子育て支援に関わる様々な施策を計画的・総合的に推進します。

資　料　編

(1)　「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」調査票

(2)　「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」調査結果

(3)　那珂川町子ども・子育て会議条例

(4)　那珂川町子ども・子育て会議委員名簿

(5)　第３次那珂川町子ども・子育て支援プラン策定経緯

子ども・子育て支援に関する

ニーズ調査



令和６年６月

那珂川町 子育て支援課

回答するにあたってお読みください

○　那珂川町では、平成 27 年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成 27 年度から平成 31 年度までの５年間を第１期、令和２年度から令和６年度までを第２期とする『那珂川町子ども・子育て支援プラン』を作成し、計画的に給付・事業を実施しています。

○　この調査は、次期計画で確保を図るべき令和７年度以降の教育・保育・子育て支援の「量の見込み」（需要）を算出するにあたり、子育てに関わる町民の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うもので、小学校就学前のお子さん（出産予定を含む）がいる全ての世帯を対象とします。

○　ご記入いただいた回答は、個別の内容を公表したり、上記の目的以外に使用したりすることはございません。また、施設や事業の利用希望に関する回答は、今後の施設・事業の利用決定には一切影響しませんので、安心して率直なご意見をお聞かせください。

【回答にあたってのお願い】

○　特に断りのある場合を除き、アンケートには、封筒の宛名のお子さんとその保護者についてご回答いただき、保護者の方がご記入ください。

○　妊婦の方は、現在妊娠中のお子さんが産まれたことを想定してお答えください。

○　回答にあたっては、黒または青のボールペン、黒い鉛筆等ではっきりとご記入ください。修正する場合は、二重線で訂正したうえで、正しい回答をご記入ください。

○　回答を選択肢の中から選ぶ設問は、選ぶ回答数がそれぞれ違いますのでご注意ください。また、選択肢「その他」を選んだ場合は、（　　）内に具体的内容をご記入ください。

○　回答の状況によっては、回答不要な設問もあります。説明文に従ってお進みください。

○　本アンケートは Web での回答も可能（パスワードは通知に記載）です。回答状況により回答が必要な設問のみ表示され、15 分程度で終わりますのでぜひご利用ください。

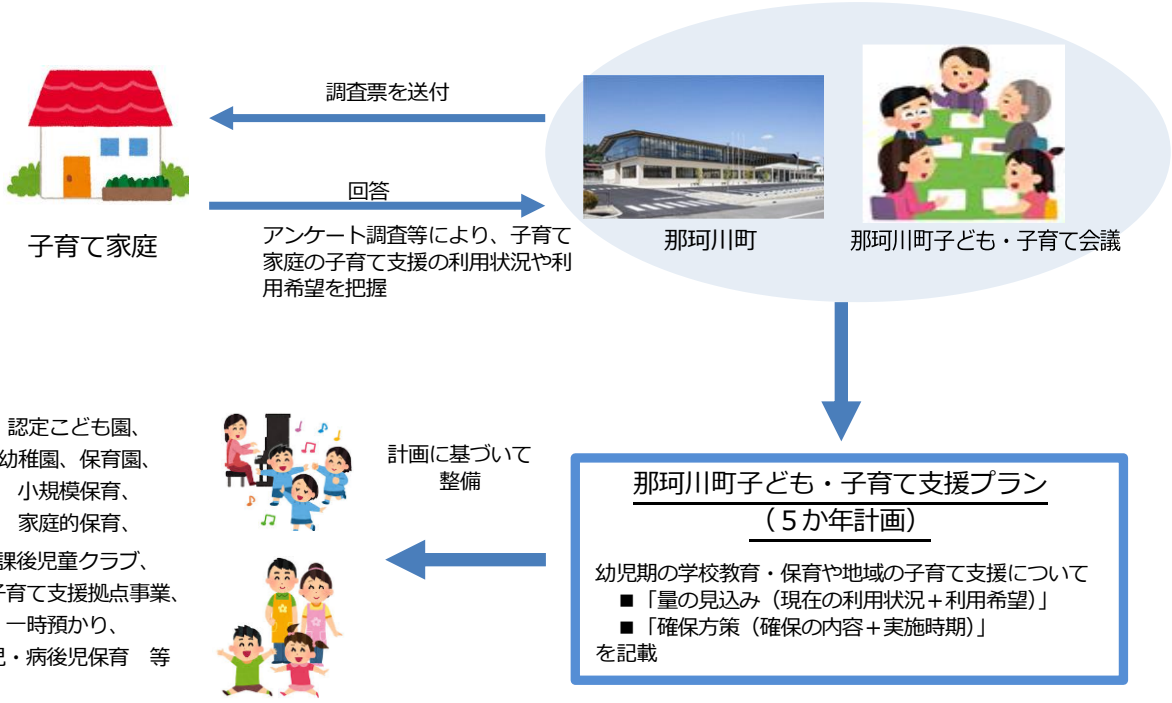
※ システムの都合で、回答送信前に全ての回答内容を一覧で確認する画面が表示されません。送信前に回答を確認したい方は、この調査票に回答内容を書き留めておくと便利です。

URL https://survey.nakagawamachi.jp/child-rearing/

↓ スマートフォン・タブレット読み取り用 QR コード

問い合わせ　子育て支援課 子育て支援係
TEL　0287（92）1115
Mail　kosodate@town.tochigi-nakagawa.lg.jp

みなさんからの回答が那珂川町の子育て支援の充実に活かされます



【用語の定義】

この調査票における用語の定義は次のとおりです。

◆認定こども園：幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第２条第６項）

◆幼　　稚　　園：学校教育法に定める、３～５歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第 22 条）

◆保　　育　　所：児童福祉法に定める、保育を必要とする０～５歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第 39 条）

◆子　　育　　て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

◆子育て世代包括支援センター：安心して妊娠・出産・子育てができるよう、妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、切れ目なく支援していく事業
那珂川町子育て支援課母子保健係において実施

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの**番号１つに**○をつけてください。

1．馬頭	2．健武	3．矢又	4．和見	5．小口	6．北向田
7．久那瀬	8．松野	9．富山	10．盛泉	11．谷川	12．大内
13．大那地	14．大山田下郷	15．大山田上郷		16．小砂	17．小川
18．吉田	19．谷田	20．白久	21．片平	22．高岡	23．東戸田
24．三輪	25．恩田	26．薬利	27．芳井	28．浄法寺	
29. 那珂川町に住んでいない					

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月について、当てはまる年号に○、□内に**数字で**ご記入ください。妊婦さんがご回答いただいている場合は、出産予定月をご記入ください。

平成・令和 □□ 年 □□ 月生まれ（または出産予定）

問3 宛名のお子さんの他にきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを除いた人数を□内に**数字で**ご記入ください。きょうだいがいる場合は、末子の生年月について、問２と同様にご記入ください。（宛名のお子さんが末子の場合は、問２と同じ内容を再度ご記入ください。）

きょうだい数 □ 人　　末子の生年月　平成・令和 □□ 年 □□ 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

1．母親　　2．父親　　3．その他（　　）

問5 この調査票にご回答いただいている方の現在の配偶関係について、**どちらか１つに**○をつけてください。

1．配偶者がいる　　2．配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育てを主に担っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

1．父母ともに　2．主に母親　3．主に父親　4．主に祖父母　5．その他（　　）

問7 子育てをしているうえで、世帯の経済状況をどのように感じていますか。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

1．大変不安　　2．やや不安　　3．やや満足　　4．満足

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8　日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

1．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる　⇒**問8-1へ**
3．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる　⇒**問8-2へ**
5．いずれもいない　⇒**問9へ**

問8で『1』・『2』に○をつけた方にうかがいます。

問8-1　祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。　**⇒回答後は問9へ**

1．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6．その他（　　）

問8で『3』・『4』に○をつけた方にうかがいます。

問8-2　友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。　**⇒回答後は問9へ**

1．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2．友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6．その他（　　）

問9　宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。**どちらか１つに**○をつけてください。

1．いる・ある　⇒**問9-1へ**　　2．いない・ない　⇒**問9-2へ**

問9で『１』に○をつけた方にうかがいます。

問9-1　お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。　**⇒回答後は問9-2へ**

1．祖父母等の親族　　2．友人や知人　　3．近所の人　　4．子育て支援センター
5．子育て世代包括支援センター（町子育て支援課）　　6．保育士等
7．民生委員・児童委員　　8．かかりつけの医師　　9．ネット・ＳＮＳ 等
10．その他（　　）

問9-2　宛名のお子さんの子育てに関して、どのような心配や悩みがありますか。**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

1．子どもとのふれあいやしつけが十分にできないと感じる
2．近所に子どもの遊び友達がいない
3．子どもの将来（就園・就学など）
4．子育ては親の責任とする風潮に、精神的に負担を感じる
5．夫婦や家族間で意見が食い違う
6．配偶者の子育てへの関わりが少ない
7．子育てと介護の両立
8．仕事と子育ての両立
9．子育ての経済的負担
10．子ども連れで外出しにくい
11．子どもの病気
12．子どもの性格や癖など
13．子どもの発育や発達についての不安や心配
14．子育てによる身体の疲れが大きい
15．自分の自由な時間がもてない
16．子どもの食事や排せつなど基本的な生活習慣に関わること
17．その他（　　）

保護者の就労状況についてうかがいます。

問10　保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
※ **問4**で「その他」と回答した方は、任意で母親・父親の一方もしくは両方にお答えください。

(1) 母親　【父子家庭の場合は記入不要です】　**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

1．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない　→ (1)-①
2．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である　→ (1)-②へ
3．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない　→ (1)-①
4．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である　→ (1)-② → 問11へ
5．以前は就労していたが、現在は就労していない　⇒ (2)へ
6．これまで就労したことがない　⇒ (2)へ

(1)で『１～４』（就労している）に○をつけた方にうかがいます。⇒(1)-①、(1)-②

(1)-①　週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」について、□内に**数字で**ご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

１週当たり　□　日　　１日当たり　□□　時間

(1)-②　家を出る時刻と帰宅する時刻について、「08 時」「18 時」のように 24 時間制で、□内に**数字で**ご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

家を出る時刻 □□ 時	帰宅時刻 □□ 時

(2) 父親　【母子家庭の場合は記入不要です】　**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

1．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
　⇒ (2)-① (2)-②へ

3．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
　⇒ (2)-① (2)-② 問 11 へ

5．以前は就労していたが、現在は就労していない
6．これまで就労したことがない
　⇒ 問 12 へ

(2)で『１～４』（就労している）に○をつけた方にうかがいます。⇒(2)-①、(2)-②

(2)-①　週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」について、□内に**数字で**ご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

週当たり □ 日	１日当たり □□ 時間

(2)-②　家を出る時刻と帰宅する時刻について、「08 時」「18 時」のように 24 時間制で、□内に**数字で**ご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

家を出る時刻 □□ 時	帰宅時刻 □□ 時

問 10 の(1)または(2)で、『3』・『4』（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 12 へお進みください。

問 11　現在就労しているお仕事について、フルタイムへの転換希望はありますか。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

(1) 母親

1．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望で、実現の見込みがある
2．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現の見込みがない
3．パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望
4．パート・アルバイト等（フルタイム以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望で、実現の見込みがある
2．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現の見込みがない
3．パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望
4．パート・アルバイト等（フルタイム以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 10 の(1)及び(2)のいずれかまたは両方で、『5』・『6』（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 13 へお進みください。

問 12 現在または将来的に就労したいという希望はありますか。**当てはまる番号１つに**○をつけ、「２」「３」を選択した場合は、希望する就労形態について「ア」または「イ」のどちらかに○をつけてください。また、該当する□内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．１年以上先、一番下の子どもが □□ 歳になった頃に就労したい
3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→ 希望する就労形態
ア．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）
イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
⇒ 週当たり □ 日　１日当たり □ 時間程度

(2) 父親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．１年以上先、一番下の子どもが □□ 歳になった頃に就労したい
3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→ 希望する就労形態
ア．フルタイム（週５日程度・１日８時間程度の就労）
イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
⇒ 週当たり □ 日　１日当たり □ 時間程度

お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※本設問の「定期的な教育・保育事業」は、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、認定こども園、幼稚園、保育所など、問 13-1 に示した事業が含まれます。

問 13 宛名のお子さんは現在、認定こども園、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。妊婦の方は「２」に○をつけて**問 13-5** にお進みください。

１．利用している ⇒ **問 13-1 へ**	２．利用していない ⇒ **問 13-5 へ**

問 13 で『１』に○をつけた方にうかがいます。⇒問 13-1～問 13-4

問 13-1 宛名のお子さんは、平日、どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて、町内外を問わず「定期的に」利用している事業をお答えください。**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

（★印は那珂川町内では実施していない施設・事業です。）

１．認定こども園 （幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ施設）	２．幼稚園 ★
３．幼稚園の預かり保育 ★ （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	４．認可保育所 ★ （国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）
５．小規模な保育施設 ★ （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの）	６．家庭的保育 ★ （保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業）
７．事業所内保育施設 ★ （企業が主に従業員用に運営する施設）	８．自治体の認証・認定保育施設 ★ （認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
９．その他の認可外の保育施設 ★	10．居宅訪問型保育 ★ （保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11．ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	12．その他（ ）

問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、**現状でどのくらい利用**していますか。また、**希望としてはどのくらい利用したい**ですか。週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に**具体的な数字で**ご記入ください。時間は、必ず「例：09 時～18 時」のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

週当たり □ 日　１日当たり □□ 時間　（□□ 時～□□ 時）

(2) 希望：「(1)現在」と同様であれば記入不要

週当たり □ 日　１日当たり □□ 時間　（□□ 時～□□ 時）

問 13-3　現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。**どちらか１つに**○をつけてください。両方で利用している場合は、主に利用している事業が実施されている方を選択してください。

１．居住している市区町村内　　２．他の市区町村

問 13-4　平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

１．子どもの教育や発達のため ２．保護者が、現在就労している ３．保護者が、就労予定（求職中）がある ４．保護者が、家族・親族などを介護している ５．保護者に、病気や障害がある ６．保護者が、学生である ７．その他（　　）

問 13で『２』に○をつけた方にうかがいます。

問 13-5　利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。妊婦の方は「８」または「９」でお答えください。

１．利用する必要性や意思がない （保護者が在宅している、子どもの教育等を自宅で実施しているなどの理由で） ２．子どもの祖父母や親戚の人がみている ３．近所の人や父母の友人・知人がみている ４．利用したいが、教育・保育事業に空きがない ５．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない ６．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない ７．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない ８．子どもがまだ小さいため（　　歳くらいになったら利用しようと考えている） ９．その他（　　）

すべての方にうかがいます。

問 14　現在、利用している・利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、**「定期的に」利用したい**と考える事業をお答えください。**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（★印は那珂川町内では実施していない施設・事業です。）

1．認定こども園
（幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ施設）

2．幼稚園　★

3．幼稚園の預かり保育　★
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）

4．認可保育所　★
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）

5．小規模な保育施設　★
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの）

6．家庭的保育　★
（保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業）

7．事業所内保育施設　★
（企業が主に従業員用に運営する施設）

8．自治体の認証・認定保育施設　★
（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）

9．その他の認可外の保育施設　★

10．居宅訪問型保育　★
（保育者が子どもの家庭で保育する事業）

11．ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業）

12．その他（　　）

問 14-1　教育・保育事業を選ぶ際に、重視したいことをお答えください。理由として**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

1．教育・保育の理念や内容
2．施設環境（立地、設備、園庭等）
3．保育者の対応の良さ
4．通勤・送迎の便の良さ
5．自宅からの距離
6．給食の有無
7．保育料その他の費用
8．一日に預けられる時間の長さ
9．夜間・早朝利用の有無
10．土日・休日利用の有無
11．長期休業期間中（夏休み等）の利用の有無
12．その他（　　）

問 14-2　教育・保育事業を選ぶ際に、もし選べるとしたら、公立または私立の施設のどちらを選びますか。**当てはまる番号**に○をつけて、選択した理由を記入してください。

1．公立の施設　　2．私立の施設　　3．公立・私立どちらでもよい
【選択した理由】
（　　）

問 14-3　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。**当てはまる番号**に○をつけてください。

1．居住している市区町村内　　2．他の市区町村

地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 15　ご家庭では、現在、**「子育て支援センターわかあゆ」**（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）を利用していますか。**どちらか１つに**○をつけてください。また、利用している場合は、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

１．利用している
　　１週当たり □ 回　もしくは　１ヶ月当たり □ 回程度
２．利用していない

問 15-1　**「子育て支援センターわかあゆ」**について、今は利用していないができれば**今後利用したい**、あるいは、**利用日数を増やしたい**と思いますか。**当てはまる番号１つに**○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

１．利用していないが、今後利用したい
　　１週当たり □ 回　もしくは　１ヶ月当たり □ 回程度
２．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　　１週当たり更に □ 回　もしくは　１ヶ月当たり更に □ 回程度
３．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 16　下記の事業で**知っているもの**や、これまでに**利用したことがあるもの**、今後、**利用したいと思うもの**をお答えください。①～⑦の事業ごとに、**A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに**○をつけてください。
※ 那珂川町では実施されていない事業も含まれています。

事業の名称や内容	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級（産後サロン、離乳食教室等）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
②町の「子育て世代包括支援センター」の相談事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤認定こども園や幼稚園、保育所の園庭等の開放	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑦町発行の子育て応援ガイドブック『te-to-te-to』	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

問 17 那珂川町で、**ファミリー・サポート・センター事業**を実施していることを知っていますか。**当てはまる番号**に○をつけてください。

【ファミリー・サポート・センターとは】

『子育ての支援をしてほしい人』（**おねがい会員**）と『子育ての支援ができる人』（**まかせて会員**）からなる会員組織です。支援できる主な内容は、満１歳から小学６年生までのお子さんの、保育施設や習い事などの送迎、保育施設の保育時間外・学校の放課後などの保育です。センターでは、『おねがい会員』の依頼の内容に合う『まかせて会員』を紹介します。なお、利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

１．知っている　　２．知らない

問 17-1 おねがい会員として、ファミリー・サポート・センターを利用したいと思いますか。**当てはまる番号**に○をつけてください。

１．利用したい　⇒ **問 17-2 へ**　　２．利用したいとは思わない　⇒ **問 17-3 へ**

問 17-1 で『１』に○をつけた方にうかがいます。

問 17-2 どのような支援を受けるために利用したいですか。**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

１．保育施設（認定こども園・幼稚園・保育所等）への子どもの送迎
２．塾や習い事への子どもの送迎
３．保育施設の保育時間外の子どもの保育
４．学校の放課後や放課後児童クラブ終了後の子どもの保育
５．保護者が病気になった時の子どもの保育
６．冠婚葬祭などの外出の時の子どもの保育
７．その他（　　）

問 17-1 で『２』に○をつけた方にうかがいます。

問 17-3 利用したいと思わない理由について、**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

１．利用する必要が無い（親族や知人など依頼できる人がいる、保護者が休みを取って対応する等）
２．他人に子どもの面倒を頼むことに不安がある
３．まかせて会員の質（知識や技術、人柄など）に不安がある
４．利用料がかかる、利用料が高い
５．利用方法、会員登録の方法が分からない
６．その他（　　）

すべての方にうかがいます。

問 17-4 将来、自分の子育てが終わった後、または自分の子育ての空いている時間に、**まかせて会員として**、地域の子育てを支援したいと思いますか。**当てはまる番号**に○をつけてください。

１．支援したい　⇒ **問 18 へ**　　２．支援したいとは思わない　⇒ **問 17-5 へ**

問 17-4 で『２』に○をつけた方にうかがいます。

問 17-5 支援したいと思わない理由について、**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

１．他人の子どもの面倒はみたくない・関わりたくない
２．他人の子どもの面倒をみることに不安がある（事故や急病など）
３．受け取れる利用料が少ない
４．その他（　　）

お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の**利用希望**はありますか（一時的な利用は除きます）。**当てはまる番号１つに**○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。時間は、必ず「例：09 時～18 時」のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

※教育・保育事業とは、認定こども園、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に１～２回は利用したい
→ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

(2) 日曜日・祝日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に１～２回は利用したい
→ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

問 18 の(1)もしくは(2)で、『3』に○をつけた方にうかがいます。

問 18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由について、**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

1．月に数回仕事が入るため
2．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため
4．保護者の息抜きのため
5．その他（ ）

現在、「幼稚園」または「認定こども園の幼稚園機能部分」を利用されている方（1 号認定児の保護者）にうかがいます。

問 19 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど**長期休業期間中の教育・保育事業の利用**を希望しますか。**当てはまる番号１つに**○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。時間は、必ず「例：09 時～18 時」のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1．利用する必要はない
2．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3．休みの期間中、週に数日利用したい
→ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

問 19 で『3』に○をつけた方にうかがいます。

問 19-1 「週に数日利用したい」理由について、**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

1．週に数回仕事が入るため
2．買い物等の用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため
4．保護者の息抜きのため
5．その他（ ）

お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 20　那珂川町の子どもは、次の病児・病後児保育施設を利用できることを知っていますか。

①那須南病院 病児保育所（那須烏山市）	1．知っている	2．知らない
②国際医療福祉大学 金丸こども園（大田原市）	1．知っている	2．知らない

問 13 で『1』に○をつけた方（平日の定期的な教育・保育事業を利用している）にうかがいます。
問 13 で『2』に○をつけた方（平日の定期的な教育・保育事業を利用していない）は、問 22 にお進みください。

問 21　この１年間に、宛名のお子さんが**病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったこと**はありますか。**どちらか１つに**○をつけてください。

1．あった　⇒ 問 21-1 へ　　2．なかった　⇒ 問 22 へ

問 21-1　宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった際に、この１年間に行った対処方法として**当てはまる記号すべてに**○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。　※半日程度の対応は、１日とカウントしてください。

対処方法	日　数
ア．父親が休んだ	□□ 日
イ．母親が休んだ	□□ 日
ウ．父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
エ．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
オ．病児・病後児保育施設（問 20 の施設等）を利用した	□□ 日
カ．ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ．ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
ク．仕方なく子どもだけで留守番させた	□□ 日
ケ．その他（　　）	□□ 日

問 21-4 へ

問 21-1 で『ア』から『ウ』のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 21-2　その際、「できれば**病児・病後児保育施設等**を利用したい」と思われましたか。**どちらか１つに**○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。
※問 20 で「2．知らない」を選択した方は、その当時に当該施設を知っていたと仮定してお答えください。

1．利用したいと思った　⇒　□□ 日　⇒ 問 22 へ
2．利用したいとは思わなかった　⇒ 問 21-3 へ

問21-2で『2』に○をつけた方にうかがいます。

問21-3　利用したいと思わなかった理由について、**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

1．病気やケガの子どもを他人に看てもらうのは不安
2．病児・病後児保育施設等の事業の質に不安がある
3．病児・病後児保育施設等の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4．利用方法がわからない
5．利用までの手続きが複雑で面倒
6．利用料がかかる、利用料が高い
7．親が仕事を休んで対応する
8．その他（　　）

問21-1で『エ』から『ケ』のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問21-4　その際、「できれば父母のいずれかが**仕事を休んで看たい**」と思われましたか。**どちらか1つに**○をつけ、「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

1．仕事を休んで看たいと思った　⇒ □□ 日 ⇒ **問22へ**
2．仕事を休んで看ようとは思わなかった　⇒ **問21-5へ**

問21-4で『2』に○をつけた方にうかがいます。

問21-5　仕事を休んで看ようとは思わなかった理由について、**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

1．子どもの看護を理由に休みがとれない
2．自営業なので休めない
3．取得できる休暇日数が足りないので休めない
4．その他（　　）

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 22　宛名のお子さんについて、**日中の定期的な保育や病気のため以外に**、私用や親の通院、不定期の就労等の目的で、町内外を問わず**不定期に利用している事業はありますか。**ある場合は、**当てはまる番号すべてに**○をつけ、１年間のおおよその利用日数も□内に数字でご記入ください。妊婦の方は「７」に○をつけて**問 22-1**にお進みください。

※ 那珂川町では実施されていない事業も含まれています。

利用している事業・日数（年間）		
１．一時預かり・一時保育 （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□	日
２．幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	□□	日
３．ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	□□	日
４．ショートステイ・トワイライトステイ （児童養護施設等で休日や夜間に子どもを預かる事業、宿泊可）	□□	日
５．ベビーシッター	□□	日
６．その他（　　）	□□	日
７．利用していない　⇒ 問 22-1 へ		

⇒ 問 23 へ

問 22 で『7』に○をつけた方にうかがいます。

問 22-1　利用していない理由について、**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。妊婦の方は「８」に○をつけ、妊娠中であることをご記入ください。

１．特に利用する必要がない
２．利用したい事業が地域にない
３．地域の事業の質に不安がある
４．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
５．利用料がかかる、利用料が高い
６．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
７．事業の利用方法（手続き等）がわからない
８．その他（　　）

問 23　宛名のお子さんについて、問２２で回答した事業を次に示した目的で、年間何日程度利用する必要があると思いますか。**利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに**○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

１．利用したい		
	ア．私用（買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□□ 日
	イ．冠婚葬祭、学校行事、親や親族の通院等	□□ 日
	ウ．不定期の就労	□□ 日
	エ．その他（　　）	□□ 日
２．利用する必要はない　⇒ 問 24-2 へ		

⇒ 問 24 へ

問 24　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを**泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと**はありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として**当てはまる番号・記号すべてに**○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。妊婦の方は「２」に○をつけてください。

	対処方法	日数	
１．あった	ア．親族・知人（同居者を含む）にみてもらった	□□ 泊	⇒**問 24-1 へ**
	イ．ショートステイを利用した（児童養護施設等で夜間に子どもを預かる事業、宿泊可）	□□ 泊	⇒**問 24-2 へ**
	ウ．ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□ 泊	
	エ．預け先が見つからず、子どもを用事に同行させた	□□ 泊	
	オ．預け先が見つからず、子どもだけで留守番させた	□□ 泊	
	カ．その他（　　）	□□ 泊	
２．なかった			

問 24 で『１』の『ア』に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1　親族・知人（同居者を含む）に宛名のお子さんの宿泊をお願いした時の困難度について、**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

１．非常に困難だった　　２．どちらかというと困難だった　　３．特に困難ではなかった

すべての方にうかがいます。

問 24-2　那珂川町の子どもは、**社会福祉法人養徳園**（さくら市）で実施しているショートステイを利用できることを知っていますか。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

１．知っている　　２．知らない

お子さんが小学校に入学した後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 25　宛名のお子さんについて、**小学校低学年（１～３年生）**のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。**当てはまる番号すべてに**○をつけ、それぞれ**希望する週当たり日数を数字で**ご記入ください。

また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず「例：18 時」のように 24 時間制でご記入ください。

※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

【放課後児童クラブとは】

地域によって学童保育とも呼ばれています。保護者が就労等で放課後家庭にいない場合などに、指導員（放課後児童支援員）の管理の下、子どもの生活の場を提供するものです。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1．自宅	週 □ 日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3．習い事（ピアノ教室・サッカークラブ・学習塾等）	週 □ 日くらい
4．放課後児童クラブ（学童保育）	週 □ 日くらい 下校時から □□ 時まで
5．ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい
6．その他（公民館、公園など）	週 □ 日くらい

問 26　宛名のお子さんについて、**小学校高学年（４～６年生）**になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。**当てはまる番号すべてに**○をつけ、それぞれ**希望する週当たり日数を数字で**ご記入ください。

また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず「例：18 時」のように 24 時間制でご記入ください。

※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1．自宅	週 □ 日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3．習い事（ピアノ教室・サッカークラブ・学習塾等）	週 □ 日くらい
4．放課後児童クラブ（学童保育）	週 □ 日くらい 下校時から □□ 時まで
5．ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい
6．その他（公民館、公園など）	週 □ 日くらい

問 25 及び 問 26 のいずれかまたは両方で『4』に○をつけた方にうかがいます。

問 27 宛名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日等に、**放課後児童クラブの利用希望**はありますか。それぞれの設問について、**当てはまる番号１つに**○をつけてください。また、利用したい時間帯を□内に「例：09 時～18 時」のように 24 時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1．低学年（１～３年生）の間は利用したい
2．高学年（４～６年生）になっても利用したい
3．利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□□ 時から □□ 時まで

(2) 日曜日・祝日

1．低学年（１～３年生）の間は利用したい
2．高学年（４～６年生）になっても利用したい
3．利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□□ 時から □□ 時まで

(3) お盆休み（8/13～8/16）

1．低学年（１～３年生）の間は利用したい
2．高学年（４～６年生）になっても利用したい
3．利用する必要はない

利用したい日・時間帯　※希望日に○、□内は 24 時間制で
8／13　14　15　16　□□ 時から □□ 時まで

(4) 年末年始休み（12/28～1/4）

1．低学年（１～３年生）の間は利用したい
2．高学年（４～６年生）になっても利用したい
3．利用する必要はない

利用したい日・時間帯　※希望日に○、□内は 24 時間制で
12/28　29　30　31　1/2　3　4　□□ 時から □□ 時まで

問 28 宛名のお子さんについて、お子さんの**長期休業期間（夏休み・冬休み・春休み）中の放課後児童クラブの利用希望**はありますか。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。また、利用したい日数、時間帯を□内に数字でご記入ください。時間帯については、「例：09 時～18 時」のように 24 時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1．低学年（１～３年生）の間は利用したい
2．高学年（４～６年生）になっても利用したい
3．利用する必要はない

⇒ 利用したい日・時間帯
週 □ 日くらい
□□ 時から □□ 時まで

育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 29　宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が**育児休業**を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、**当てはまる番号１つに**○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。妊婦の方は、それぞれ「４」に○をつけ、妊娠中であることをご記入ください。

※ **問4** で「その他」(回答者が父母以外)と回答した方も、わかる範囲でご回答いただき、この後の **問 29-1**～**問 29-7** も可能な範囲でご協力ください。取得状況がわからない場合は「４．その他」を選択してその旨ご記入ください。この場合、**問 29-1**～**問 29-7** の回答は不要です。

①母親【父子家庭の場合は記入不要です】

1．働いていなかった　⇒ **問 30** へ

2．取得した（取得中である）

期間□□ヶ月程度　⇒ **問 29-1** へ

3．取得していない　⇒ **問 30** へ

取得していない理由（下の選択肢から、当てはまる番号すべてを記入してください。）

4．その他（　　）

⇒ **問 30** へ

②父親【母子家庭の場合は記入不要です】

1．働いていなかった　⇒ **問 30** へ

2．取得した（取得中である）

期間□□ヶ月程度　⇒ **問 29-1** へ

3．取得していない　⇒ **問 30** へ

取得していない理由（下の選択肢から、当てはまる番号すべてを記入してください。）

4．その他（　　）

⇒ **問 30** へ

【「３．取得していない」の選択肢】

1．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4．取得後の職場復帰が難しそうだった
5．昇給・昇格などが遅れそうだった
6．収入減となり、経済的に苦しくなることが予想された
7．認定こども園・保育所などに預けることができた
8．配偶者が育児休業制度を利用した
9．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取得できることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
15．その他（　　）

問29の①,②で『2』に○をつけた方にうかがいます。『2』以外に○をつけた方は、問30へお進みください。

問29-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

①母親

1．職場に復帰した ⇒ 問29-2へ
2．現在も育児休業中である
3．育児休業中に離職した ⇒ 問30へ

②父親

1．職場に復帰した ⇒ 問29-2へ
2．現在も育児休業中である
3．育児休業中に離職した ⇒ 問30へ

問29-1の①,②で『１』に○をつけた方にうかがいます。

問29-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの認定こども園・保育所等の入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。**どちらか１つに**○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども『１』に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も『１』を選択してください。

①母親

1．年度初めの入園に合わせたタイミング
2．それ以外

②父親

1．年度初めの入園に合わせたタイミング
2．それ以外

問29-3 育児休業からの職場復帰は、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、希望としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。□内に**数字で**ご記入ください。

①母親

実際の職場復帰 □歳 □□ヶ月
希望の時期 □歳 □□ヶ月

②父親

実際の職場復帰 □歳 □□ヶ月
希望の時期 □歳 □□ヶ月

※ ①,②で、実際の職場復帰と希望の時期が異なる方は、問29-5にもご回答ください。

問29-4 お勤め先に**お子さんが３歳まで**育児目的の休暇を取得できる制度があった場合、希望としては、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。□内に**数字で**ご記入ください。

①母親

□歳 □□ヶ月のときまで

②父親

□歳 □□ヶ月のときまで

問29-3で実際の職場復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問29-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方：**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

①母親

1．希望する認定こども園・保育所等に入園するため
2．配偶者や家族の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があった
4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5．その他（ ）

②父親

1．希望する認定こども園・保育所等に入園するため
2．配偶者や家族の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があった
4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5．その他（ ）

(2)「希望」より遅く復帰した方：**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

①母親

1．希望する認定こども園・保育所等に入園するため
2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．配偶者や家族の希望があったため
4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため
6．その他（　　）

②父親

1．希望する認定こども園・保育所等に入園するため
2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．配偶者や家族の希望があったため
4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため
6．その他（　　）

問 29-6　育児休業からの職場復帰の際は、**短時間勤務制度**を利用しましたか。**どちらか１つに**○をつけてください。

①母親

1．利用した　　2．利用しなかった

②父親

1．利用した　　2．利用しなかった

問 29-7　宛名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業などがあれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる教育・保育事業などがあっても、１歳になる前に職場復帰しますか。**どちらか１つに**○をつけてください。

①母親

1．１歳になるまで育児休業を取得したい
2．１歳になる前に職場復帰したい

②父親

1．１歳になるまで育児休業を取得したい
2．１歳になる前に職場復帰したい

今後の町の子育て支援施策の参考のためにご意見を聞かせてください。

問 30　現在養育されているお子さんの他に、これからお子さんを持ちたいと思いますか（条件が合えば持ちたいと思う場合を含む）。また、持ちたいと思われる場合は、あと何人お子さんを持ちたいと思いますか。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

１．今以上は子どもを持ちたいと思わない	２．あと１人持ちたい
３．あと２人持ちたい	４．あと３人以上持ちたい

問 30 で『２』『３』『４』に○をつけた方にうかがいます。

問 30-1　これからお子さんを持つために必要だと思われる支援・条件について、**当てはまる番号すべてに**○をつけてください。

１．子育て家庭の経済的な負担への支援
　例：妊娠、出産に係る費用の負担軽減、児童手当の拡充など
２．妊娠・出産・育児に係る負担や不安を和らげる支援
　例：妊娠期から出産・子育てまでの専門員による相談や情報提供、退院直後の母子に対する宿泊や通所、訪問による心身のケアや育児のサポートなど
３．親子で気軽に遊ぶことのできる交流の場
　例：子どもの年齢が近い保護者同士で交流できる地域子育て支援センターなどの拡充
４．安定的な保育環境の確保
　例：きょうだい共に希望の認定こども園等に入園できる環境や、子どもを一時的又は定期的に預かる一時預かり施設、こども誰でも通園制度（仮称）等の保育環境の拡充等
５．子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進
　例：フレックス制度やテレワークなどの柔軟な働き方、育児休業等の制度の拡充、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発など
６．その他（　　）
７．特に支援は必要ない

問 31　那珂川町での子育ての環境や支援への満足度をお選びください。**当てはまる番号１つに**○をつけてください。

１．大変不満	２．やや不満	３．普通	４．やや満足	５．大変満足

問 32　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

（2）「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」調査結果

第三次那珂川町子ども・子育て支援支援プラン策定に係る「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」結果報告書

調査概要

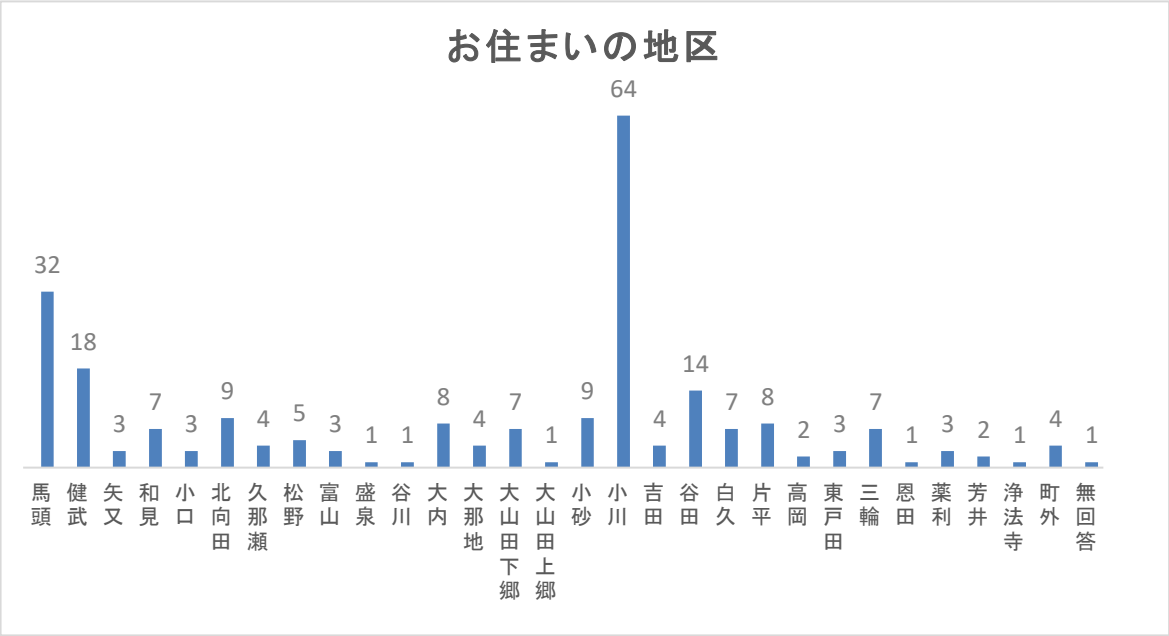
- ・調査対象　未就学児（回答は保護者）及び妊婦
- ・抽出基準日　令和6年6月1日
- ・対象者数　339名（未就学児321名、妊婦18名）
- ・調査方法　紙ベースの調査票による調査及びWebによる調査
- ・調査期間　令和6年6月4日から令和6年6月19日まで
- ・回答数　236名（紙ベース98名、Web 138名）
- ・回答率　69.6%（全回答のうち紙ベースの割合41.5%、Webの割合58.5%）

調査結果

○ 問1：お住まいの地区（n=236）

地区名	回答数	割合
馬頭	32	13.56%
健武	18	7.63%
矢又	3	1.27%
和見	7	2.97%
小口	3	1.27%
北向田	9	3.81%
久那瀬	4	1.69%
松野	5	2.12%
富山	3	1.27%
盛泉	1	0.42%
谷川	1	0.42%
大内	8	3.39%
大那地	4	1.69%
大山田下郷	7	2.97%
大山田上郷	1	0.42%
小砂	9	3.81%
小計	115	

地区名	回答数	割合
小川	64	27.12%
吉田	4	1.69%
谷田	14	5.93%
白久	7	2.97%
片平	8	3.39%
高岡	2	0.85%
東戸田	3	1.27%
三輪	7	2.97%
恩田	1	0.42%
薬利	3	1.27%
芳井	2	0.85%
浄法寺	1	0.42%
小計	116	
町外	4	1.69%
無回答	1	0.42%
合計	236	



○ 問2：お子さんの年齢（n=236）

クラス年代	回答数	割合
0歳児クラス	30	12.7%
1歳児クラス	29	12.3%
2歳児クラス	36	15.3%
3歳児クラス	47	19.9%
4歳児クラス	55	23.3%
5歳児クラス	38	16.1%
無回答	1	0.4%
合計	236	

※妊婦は出産予定日で回答

○ 問3：きょうだいの有無、人数（n=236）

・きょうだいの有無

有無	回答数	割合
あり	188	79.7%
なし	47	19.9%
無回答	1	0.4%
合計	236	

・きょうだいの人数（n=188）

人数（本人除く）	回答数	割合
1人いる	98	52.1%
2人いる	61	32.4%
3人いる	26	13.8%
4人いる	2	1.1%
無回答	1	0.5%
合計	188	

・きょうだいの状況（n=236）

状況	回答数	割合
1人っ子	47	19.9%
2人きょうだい	98	41.5%
3人きょうだい	61	25.8%
4人きょうだい	26	11.0%
5人きょうだい	2	0.8%
無回答	2	0.8%
合計	236	

注：本調査では、同一保護者による複数回答を含んでいるため、例えば保護者が2人きょうだいでそれぞれ回答した場合、「2人兄弟が2組」とカウントされる。

○ 問4：回答者（n=236）

項目	回答数	割合
母親	200	84.7%
父親	36	15.3%
その他	0	0.0%
合計	236	

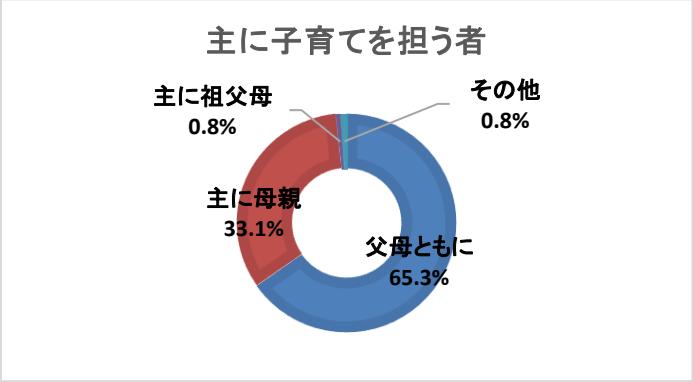
○ 問5：回答者の配偶者の有無（n=236）

項目	回答数	割合
配偶者がいる	219	92.8%
配偶者はいない	17	7.2%
合計	236	

○ 問6：主に子育てを担う者（n=236）

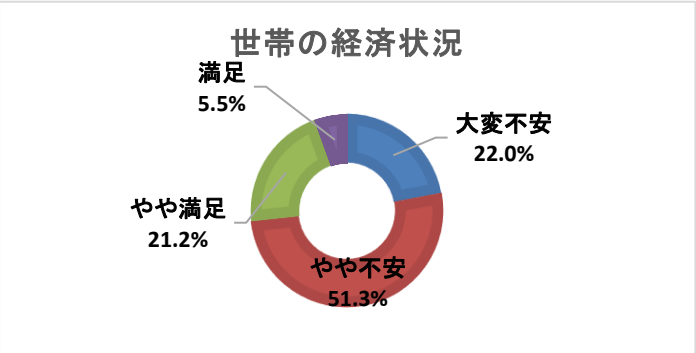
項目	回答数	割合
父母ともに	154	65.3%
主に母親	78	33.1%
主に父親	0	0.0%
主に祖父母	2	0.8%
その他	2	0.8%
合計	236	

➢「その他」の内容
・主に母親と祖母　2



○ 問7：世帯の経済状況（n=236）

項目	回答数	割合
大変不安	52	22.0%
やや不安	121	51.3%
やや満足	50	21.2%
満足	13	5.5%
合計	236	



○ 問8：お子さんをみてもらえる人の存在（対象人数236、うち無回答者2、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	124	53.0%
2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	120	51.3%
3.日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	0	0.0%
4.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	6	2.6%
5.いずれもいない	17	7.3%
合計	267	

○ 問8-1：祖父母等にお子さんをみてもらっている状況（対象人数216、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.祖父母等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配せず安心	110	50.9%
2.祖父母等の身体的負担が大きく心配	59	27.3%
3.祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配	57	26.4%
4.自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	66	30.6%
5.子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか少し不安	29	13.4%
6.その他	3	1.4%
合計	324	

➢「その他」の内容
・アレルギーへの理解がなく不安　1
・祖父母に預かってもらえるのは短時間　1
・特になし　1

○ 問8-2：友人・知人にお子さんをみてもらっている状況（対象人数6、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配せず安心	0	0.0%
2.友人・知人の身体的負担が大きく心配	1	16.7%
3.友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配	2	33.3%
4.自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	2	33.3%
5.子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか少し不安	2	33.3%
6.その他	0	0.0%
合計	7	

○ 問9：子育てをするうえで相談できる人・場所の存在（n=236）

項目	回答数	割合
いる・ある	221	93.6%
いない・ない	13	5.5%
無回答	2	0.8%
合計	236	

○ 問9-1：相談先（対象人数221、うち無回答者15、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.祖父母等の親族	190	92.2%
2.友人や知人	165	80.1%
3.近所の人	20	9.7%
4.子育て支援センター	30	14.6%
5.子育て世代包括支援センター（町子育て支援課）	30	14.6%
6.保育士等	58	28.2%
7.民生委員・児童委員	1	0.5%
8.かかりつけの医師	15	7.3%
9.ネット・SNS等	8	3.9%
10.その他	11	5.3%
合計	528	

➢「その他」の内容
・つばさ（福祉事業所） 6　　・職場、同僚 4　　・くれよんクラブ（児童発達支援事業所） 2
・子ども発達クリニック 1　　・OT 1　　・相談支援専門員（国家資格保持者） 1
※ その他の内容を複数記載した回答者がいるため、合計数は回答数を超える。

○ 問9-2：子育てに関する心配や悩み（対象人数236、うち無回答者13、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.子どもとのふれあいやしつけが十分にできないと感じる	57	25.6%
2.近所に子どもの遊び友達がいない	89	39.9%
3.子どもの将来（就園・就学など）	75	33.6%
4.子育ては親の責任とする風潮に、精神的に負担を感じる	6	2.7%
5.夫婦や家族間で意見が食い違う	22	9.9%
6.配偶者の子育てへの関わりが少ない	7	3.1%
7.子育てと介護の両立	5	2.2%
8.仕事と子育ての両立	121	54.3%
9.子育ての経済的負担	85	38.1%
10.子ども連れで外出しにくい	25	11.2%
11.子どもの病気	36	16.1%
12.子どもの性格や癖など	51	22.9%
13.子どもの発育や発達についての不安や心配	53	23.8%
14.子育てによる身体の疲れが大きい	39	17.5%
15.自分の自由な時間がもてない	41	18.4%
16.子どもの食事や排せつなど基本的な生活習慣に関わること	24	10.8%
17.その他	13	5.8%
合計	749	

➢「その他」の内容
・特になし 9　　・小中9年間でクラス替えがない 1　　・高校への交通手段 1
・買物が1か所で済まない 1　　・こども園への行き渋り 1　　・公共施設が土日休み 1
※ その他の内容を複数記載した回答者がいるため、合計数は回答数を超える。

○ 問10（1）：母親の現在の就労状況（n=236）

項目	回答数	割合
1.フルタイム(週5日・8時間程度)で就労＋産休・育休等休業中ではない	111	47.0%
2.フルタイム(週5日・8時間程度)で就労＋産休・育休等休業中である	26	11.0%
3.パート・アルバイト(フルタイム以外)で就労＋産休・育休等休業中ではない	58	24.6%
4.パート・アルバイト(フルタイム以外)で就労＋産休・育休等休業中である	1	0.4%
5.以前は就労していたが、現在は就労していない	39	16.5%
6.これまで就労したことがない	1	0.4%
合計	236	

○ 問10(1)①:母親の現在の就労日数等(n=196)

・週あたりの就労日数

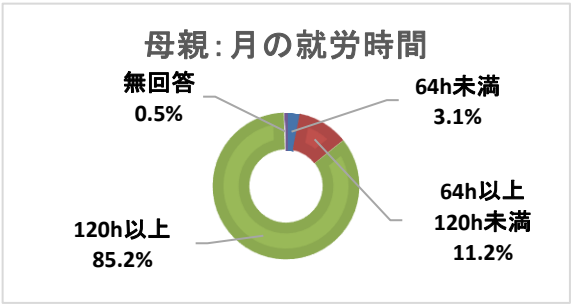
日数	回答数	割合
1日	1	0.5%
2日	2	1.0%
3日	3	1.5%
4日	14	7.1%
5日	160	81.6%
6日	15	7.7%
無回答	1	0.5%
合計	196	

・1日あたりの就労時間

時間数	回答数	割合
5h未満	10	5.1%
5h以上6h未満	16	8.2%
6h以上7h未満	23	11.7%
7h以上8h未満	39	19.9%
8h以上9h未満	83	42.3%
9h以上	24	12.2%
無回答	1	0.5%
合計	196	

・月あたりの総就労時間

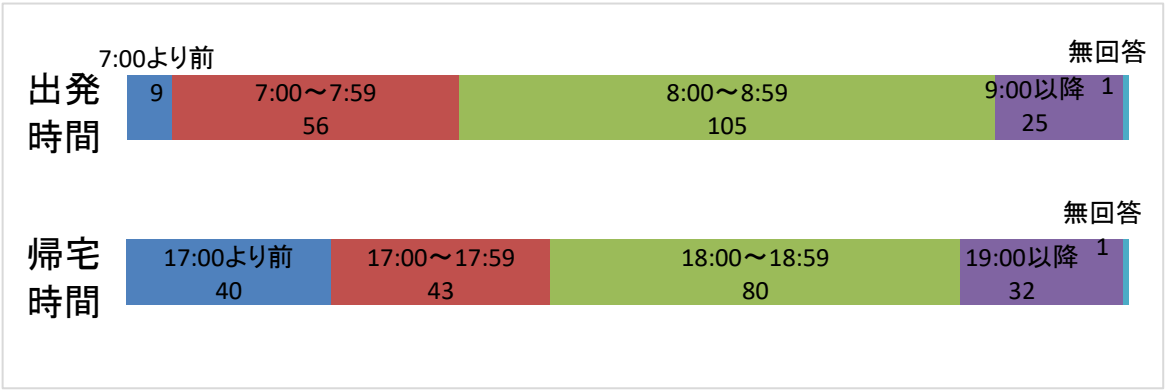
時間数	回答数	割合
64h未満	6	3.1%
64h以上120h未満	22	11.2%
120h以上	167	85.2%
無回答	1	0.5%
合計	196	



○ 問10(1)②:母親の出発・帰宅時間(n=196)

出発時間	回答数	割合
7:00より前	9	4.6%
7:00～7:59	56	28.6%
8:00～8:59	105	53.6%
9:00以降	25	12.8%
無回答	1	0.5%
合計	196	

帰宅時間	回答数	割合
17:00より前	40	20.4%
17:00～17:59	43	21.9%
18:00～18:59	80	40.8%
19:00以降	32	16.3%
無回答	1	0.5%
合計	196	



○ 問10(2):父親の現在の就労状況(n=236)

項目	回答数	割合
1.フルタイム(週5日・8時間程度)で就労＋産休・育休等休業中ではない	207	87.7%
2.フルタイム(週5日・8時間程度)で就労＋産休・育休等休業中である	0	0.0%
3.パート・アルバイト(フルタイム以外)で就労＋産休・育休等休業中ではない	1	0.4%
4.パート・アルバイト(フルタイム以外)で就労＋産休・育休等休業中である	0	0.0%
5.以前は就労していたが、現在は就労していない	9	3.8%
6.これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	19	8.1%
合計	236	

○ 問10(2)①:父親の現在の就労日数等(n=208)

・週あたりの就労日数

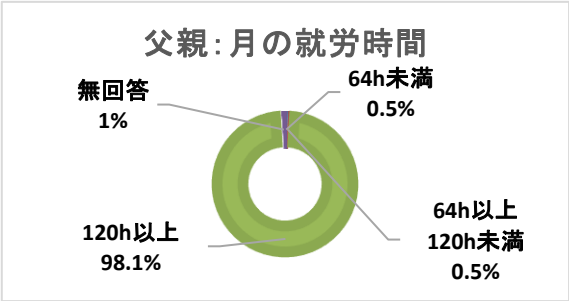
日数	回答数	割合
2日	3	1.4%
3日	4	1.9%
4日	3	1.4%
5日	138	66.3%
6日	55	26.4%
7日	3	1.4%
無回答	2	1.0%
合計	208	

・1日あたりの就労時間

時間数	回答数	割合
7h未満	3	1.4%
7h以上8h未満	5	2.4%
8h以上9h未満	104	50.0%
9h以上10h未満	20	9.6%
10h以上11h未満	36	17.3%
11h以上	38	18.3%
無回答	2	1.0%
合計	208	

・月あたりの総就労時間

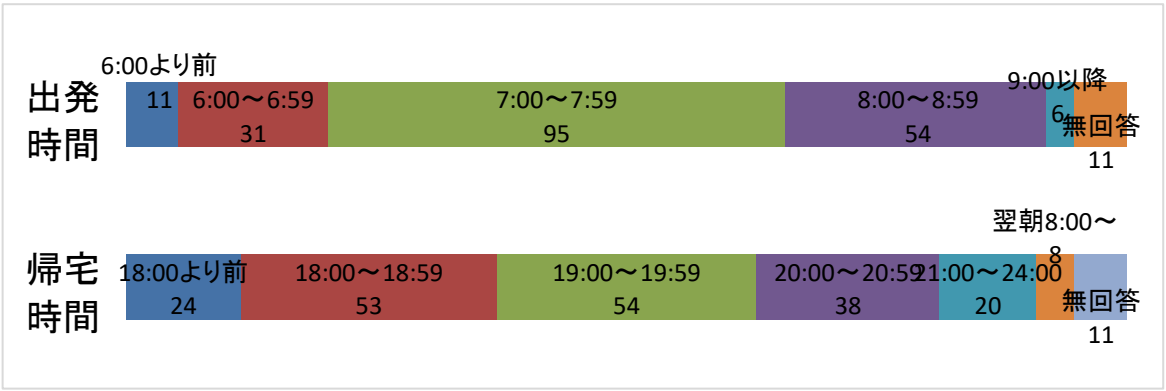
時間数	回答数	割合
64h未満	1	0.5%
64h以上120h未満	1	0.5%
120h以上	204	98.1%
無回答	2	1.0%
合計	208	



○ 問10(2)②:父親の出発・帰宅時間(n=208)

出発時間	回答数	割合
6:00より前	11	5.3%
6:00～6:59	31	14.9%
7:00～7:59	95	45.7%
8:00～8:59	54	26.0%
9:00以降	6	2.9%
無回答	11	5.3%
合計	208	

帰宅時間	回答数	割合
18:00より前	24	11.5%
18:00～18:59	53	25.5%
19:00～19:59	54	26.0%
20:00～20:59	38	18.3%
21:00～24:00	20	9.6%
翌朝8:00～	8	3.8%
無回答	11	5.3%
合計	208	



○ 問11(1):パート・アルバイトの母親のフルタイム転換希望(n=59)

項目	回答数	回答率
1.フルタイム(週5日・8時間程度)に転換希望で実現の見込みがある	3	5.1%
2.フルタイム(週5日・8時間程度)に転換希望だが実現の見込みがない	16	27.1%
3.パート・アルバイト(フルタイム以外)の就労を続けることを希望	26	44.1%
4.パート・アルバイト(フルタイム以外)を辞めて子育てや家事に専念したい	5	8.5%
無回答	9	15.3%
合計	59	

○ 問11(2):パート・アルバイトの父親のフルタイム転換希望(n=1)

項目	回答数	回答率
1.フルタイム(週5日・8時間程度)に転換希望で実現の見込みがある	0	0.0%
2.フルタイム(週5日・8時間程度)に転換希望だが実現の見込みがない	0	0.0%
3.パート・アルバイト(フルタイム以外)の就労を続けることを希望	0	0.0%
4.パート・アルバイト(フルタイム以外)を辞めて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	

○ 問12(1):現在就労していない母親の就労希望(n=40)

項目	回答数	回答率
1.子育てや家事などに専念したい(就労の予定なし)	9	22.5%
2.1年以上先、一番下の子どもが○○歳になった頃就労したい	13	32.5%
3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	15	37.5%
無回答	3	7.5%
合計	40	

・選択肢2「○○歳になった頃」

年齢	回答数	割合
1歳	3	23.1%
3歳	6	46.2%
6歳	2	15.4%
7歳	2	15.4%
合計	13	

・選択肢2,3回答者:希望する就労形態(n=28)

項目	回答数	割合
ア. フルタイム(週5日・8時間程度の就労)	9	32.1%
イ. パートタイム、アルバイト等(ア以外)	18	64.3%
無回答	1	3.6%
合計	28	

・選択肢イ:希望就労日数(n=18)

週あたり	回答数	割合
3日	2	11.1%
4日	7	38.9%
5日	9	50.0%
合計	18	

＋

・選択肢イ:就労希望時間(n=18)

日あたり	回答数	割合
3時間	1	5.6%
4時間	3	16.7%
5時間	10	55.6%
6時間	4	22.2%
合計	18	

平均的な希望

週あたり
4.4 日/週
1日あたり
4.9 時間/日

○ 問12(2):現在就労していない父親の就労希望(n=9)

項目	回答数	割合
1.子育てや家事などに専念したい(就労の予定なし)	1	11.1%
2.1年以上先、一番下の子どもが○○歳になった頃就労したい	0	0.0%
3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	7	77.8%
無回答	1	11.1%
合計	9	

・選択肢2,3回答者:希望する就労形態(n=7)

項目	回答数	割合
ア. フルタイム(週5日・8時間程度の就労)	7	100.0%
イ. パートタイム、アルバイト等(ア以外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	7	

○ 問13：定期的な教育・保育事業の利用の有無（n=236）

項目	回答数	割合
利用している	197	83.5%
利用していない	39	16.5%
合計	236	

○ 問13-1：利用している教育・保育事業（対象人数197、うち無回答者2、複数回答可）

項目		回答数	回答率
1.認定こども園		192	98.5%
2.幼稚園	*	1	0.5%
3.幼稚園の預かり保育	*	0	0.0%
4.認可保育園	*	1	0.5%
5.小規模な保育施設	*	0	0.0%
6.家庭的保育	*	0	0.0%
7.事業所内保育施設	*	0	0.0%
8.自治体の認証・認定保育施設	*	1	0.5%
9.その他の認可外の保育施設	*	0	0.0%
10.居宅訪問保育	*	0	0.0%
11.ファミリー・サポート・センター		0	0.0%
12.その他		2	1.0%
※「*」は町内にはない施設・事業	合計	197	

➢「その他」の内容
・つばさ（福祉事業所） 2

○ 問13-2：教育・保育事業の利用頻度（n=197）

・現状：週あたりの利用日数

日数	回答数	割合
1日	1	0.5%
2日	1	0.5%
3日	1	0.5%
4日	3	1.5%
5日	184	93.4%
6日	4	2.0%
無回答	3	1.5%
合計	197	

・現状：1日あたりの利用時間

時間数	回答数	割合
4h未満	4	2.0%
4h以上5h未満	7	3.6%
5h以上6h未満	15	7.6%
6h以上7h未満	6	3.0%
7h以上8h未満	41	20.8%
8h以上9h未満	66	33.5%
9h以上10h未満	22	11.2%
10h以上	33	16.8%
無回答	3	1.5%
合計	197	

・現状：出発時間

出発時間	回答数	割合
7:00～7:59	16	8.1%
8:00～8:59	87	44.2%
9:00以降	91	46.2%
無回答	3	1.5%
合計	197	

・現状：帰宅時間

帰宅時間	回答数	割合
14:00より前	13	6.6%
14:00～14:59	14	7.1%
15:00～15:59	8	4.1%
16:00～16:59	84	42.6%
17:00～17:59	40	20.3%
18:00以降	35	17.8%
無回答	3	1.5%
合計	197	

・現状の利用が希望通りか（n=197）

項目	回答数	割合
希望通りである	110	55.8%
希望通りではない	10	5.1%
無回答	77	39.1%
合計	197	

・希望：週あたりの利用日数（n=10）

日数	回答数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	10	100.0%
6日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	10	

・希望：1日あたりの利用時間（n=10）

時間数	回答数	割合
6h未満	0	0.0%
6h以上7h未満	2	20.0%
7h以上8h未満	1	10.0%
8h以上9h未満	2	20.0%
9h以上10h未満	3	30.0%
10h以上11h未満	0	0.0%
11h以上12h未満	1	10.0%
12h以上	1	10.0%
無回答	0	0.0%
合計	10	

・希望：出発時間（n=10）

出発時間	回答数	割合
7:00～7:59	3	30.0%
8:00～8:59	1	10.0%
9:00以降	6	60.0%
無回答	0	0.0%
合計	10	

・希望：帰宅時間（n=10）

帰宅時間	回答数	割合
15:00～15:59	2	20.0%
16:00～16:59	2	20.0%
17:00～17:59	2	20.0%
18:00～18:59	3	30.0%
19:00～19:59	1	10.0%
無回答	0	0.0%
合計	10	

○ 問13-3：定期的に利用している教育・保育事業の実施場所（n=197）

項目	回答数	割合
居住市町内	185	93.9%
居住市町外	9	4.6%
無回答	3	1.5%
合計	197	

○ 問13-4：定期的に教育・保育事業を利用する理由（対象人数197、うち無回答者2、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.子どもの教育や発達のため	98	50.3%
2.保護者が、現在就労している	174	89.2%
3.保護者が、就労予定（求職中）がある	7	3.6%
4.保護者が、家族・親族などを介護している	3	1.5%
5.保護者に、病気や障害がある	2	1.0%
6.保護者が、学生である	0	0.0%
7.その他	1	0.5%
合計	285	

➢「その他」の内容
・農家である　1

○ 問13-5：定期的に教育・保育事業を利用しない理由（対象人数39、うち無回答者1、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.利用する必要性や意思がない	17	44.7%
2.子どもの祖父母や親戚の人がみている	5	13.2%
3.近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
4.利用したいが、教育・保育事業に空きがない	3	7.9%
5.利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	2	5.3%
6.利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	0	0.0%
7.利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	0	0.0%
8.子どもがまだ小さいため（○歳になったら利用を考えている）	28	73.7%
9.その他	4	10.5%
合計	59	

➢「その他」の内容
・出産前・妊婦である　2　　・育休取得中である　1　　・無回答　1

・選択肢8「○歳になったら」

年齢	回答数	割合
～1歳	12	42.9%
～2歳	3	10.7%
～3歳	9	32.1%
～4歳	1	3.6%
～5歳	1	3.6%
無回答	2	7.1%
合計	28	

○ 問14：定期的に利用したい教育・保育事業（対象人数236、うち無回答者4、複数回答可）

項目		回答数	回答率
1.認定こども園		223	96.1%
2.幼稚園	*	26	11.2%
3.幼稚園の預かり保育	*	22	9.5%
4.認可保育園	*	8	3.4%
5.小規模な保育施設	*	12	5.2%
6.家庭的保育	*	4	1.7%
7.事業所内保育施設	*	7	3.0%
8.自治体の認証・認定保育施設	*	5	2.2%
9.その他の認可外の保育施設	*	1	0.4%
10.居宅訪問保育	*	2	0.9%
11.ファミリー・サポート・センター		8	3.4%
12.その他		4	1.7%
※「*」は町内にはない施設・事業	合計	322	

➢「その他」の内容
・つばさ（福祉事業所） 3　　・くれよんクラブ（児童発達支援事業所） 1
・決まっていない 1
※ その他の内容を複数記載した回答者がいるため、合計数は回答数を超える。

○ 問14-1：教育・保育事業で重視すること（対象人数236、うち無回答者1、複数回答可）

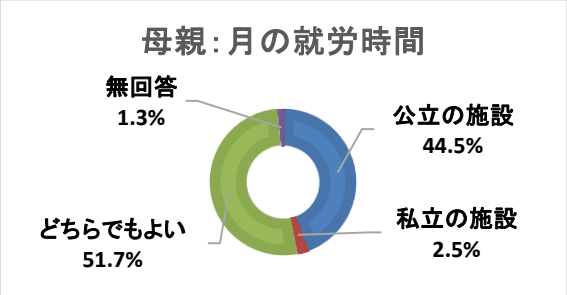
項目	回答数	回答率
1.教育・保育の理念や内容	140	59.6%
2.施設環境（立地、設備、園庭等）	146	62.1%
3.保育者の対応の良さ	153	65.1%
4.通勤・送迎の便の良さ	155	66.0%
5.自宅からの距離	176	74.9%
6.給食の有無	129	54.9%
7.保育料その他の費用	89	37.9%
8.一日に預けられる時間の長さ	75	31.9%
9.夜間・早朝利用の有無	75	31.9%
10.土日・休日利用の有無	33	14.0%
11.長期休業期間中（夏休み等）の利用の有無	55	23.4%
12.その他	1	0.4%
合計	1227	

➢「その他」の内容
・保育者の質 1

○ 問14-2：教育・保育事業の公立・私立の希望（n=236）

項目	回答数	割合
公立の施設	105	44.5%
私立の施設	6	2.5%
どちらでもよい	122	51.7%
無回答	3	1.3%
合計	236	

➢ それぞれを選択した理由は別紙にまとめて記載。



○ 問14-3：教育・保育事業を利用したい場所（n=236）

項目	回答数	割合
居住市町村	216	91.5%
他の市町村	18	7.6%
無回答	2	0.8%
合計	236	

○ 問15：子育て支援センターわかあゆの利用状況（n=236）

項目	回答数	割合
利用している	46	19.5%
利用していない	190	80.5%
無回答	0	0.0%
合計	236	

現在利用している人の平均
月　3.69　回程度

・週あたりの利用

回数	回答数
1回	6
2回	8
3回	1
4回	0
5回	1
無回答	1
合計	17

・月あたりの利用

回数	回答数
1回	19
2回	4
3回	5
4回	1
5回	0
無回答	1
合計	30

○ 問15-1：子育て支援センターわかあゆの今後の利用希望（n=236）

項目	回答数	割合
1.今は利用していないが、今後利用したい	51	21.6%
2.すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	28	11.9%
3.新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない	156	66.1%
無回答	1	0.4%
合計	236	

・選択肢1：週あたりの希望

回数	回答数
1回	7
2回	4
3回	0
4回	0
5回	0
無回答	11
合計	22

・選択肢1：月あたりの希望

回数	回答数
1回	13
2回	13
3回	3
4回	0
5回	0
無回答	11
合計	40

現在利用していない人の利用希望の平均
月　2.70　回程度

・選択肢2：週あたり増希望

回数	回答数
1回	0
2回	0
3回	1
4回	0
5回	0
無回答	24
合計	25

・選択肢2：月あたり増希望

回数	回答数
1回	0
2回	0
3回	1
4回	1
8回	1
無回答	24
合計	27

現在利用している人の利用増希望の平均
月　6.75　回程度

○ 問16：子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望（n=236）

項目	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい	
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級（産後サロン等）	はい	203	はい	134	はい	101
	いいえ	29	いいえ	99	いいえ	127
	無回答	4	無回答	3	無回答	8
	認知度	86.0%	利用割合	56.8%	希望割合	42.8%
②町「子育て世帯包括支援センター」の相談事業	はい	130	はい	30	はい	84
	いいえ	102	いいえ	201	いいえ	144
	無回答	4	無回答	5	無回答	8
	認知度	55.1%	利用割合	12.7%	希望割合	35.6%

③家庭教育に関する学級・講座	はい	48	はい	5	はい	78
	いいえ	184	いいえ	226	いいえ	150
	無回答	4	無回答	5	無回答	8
	認知度	20.3%	利用割合	2.1%	希望割合	33.1%
④教育相談センター、教育相談室	はい	76	はい	9	はい	88
	いいえ	156	いいえ	222	いいえ	139
	無回答	4	無回答	5	無回答	9
	認知度	32.2%	利用割合	3.8%	希望割合	37.3%
⑤認定こども園や幼稚園、保育所の園庭等の開放	はい	65	はい	18	はい	139
	いいえ	167	いいえ	213	いいえ	90
	無回答	4	無回答	5	無回答	7
	認知度	27.5%	利用割合	7.6%	希望割合	58.9%
⑥子育ての総合相談窓口	はい	114	はい	14	はい	91
	いいえ	118	いいえ	217	いいえ	135
	無回答	4	無回答	5	無回答	10
	認知度	48.3%	利用割合	5.9%	希望割合	38.6%
⑦町発行の子育て応援ガイドブック「te-to-te-to」	はい	170	はい	80	はい	122
	いいえ	62	いいえ	152	いいえ	107
	無回答	4	無回答	4	無回答	7
	認知度	72.0%	利用割合	33.9%	希望割合	51.7%

○ 問17：ファミリー・サポート・センター（以下「ファミサポ」とする）の認知度（n=236）

項目	回答数	割合
知っている	120	50.8%
知らない	116	49.2%
合計	236	

○ 問17-1：ファミサポの利用希望（n=236）

項目	回答数	割合
利用したい	64	27.1%
利用したいと思わない	171	72.5%
無回答	1	0.4%
合計	236	

○ 問17-2：ファミサポに期待する支援（対象人数64、うち無回答者1、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.保育施設（認定こども園・幼稚園・保育所等）への子どもの送迎	19	30.2%
2.塾や習い事への子どもの送迎	20	31.7%
3.保育施設の保育時間外の子どもの保育	25	39.7%
4.学校の放課後や放課後児童クラブ終了後の子どもの保育	27	42.9%
5.保護者が病気になった時の子どもの保育	32	50.8%
6.冠婚葬祭などの外出の時の子どもの保育	18	28.6%
7.その他	1	1.6%
合計	142	

➢「その他」の内容
・夏休みなど長期休みの時　1

○ 問17-3：ファミサポを利用したいと思わない理由（対象人数171、うち無回答者4、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.利用する必要がない（親族・知人に依頼できるなど）	129	77.2%
2.他人に子どもの面倒を頼むことに不安がある	81	48.5%
3.まかせて会員の質（知識や技術、人柄など）に不安がある	49	29.3%
4.利用料がかかる、利用料が高い	28	16.8%
5.利用方法、会員登録の方法がわからない	17	10.2%
6.その他	0	0.0%
合計	304	

○ 問17-4：将来ファミサポの「まかせて会員」としての支援意向（n=236）

項目	回答数	割合
支援したい	86	36.4%
支援したいとは思わない	146	61.9%
無回答	4	1.7%
合計	236	

○ 問17-5：将来ファミサポの「まかせて会員」として支援したいと思わない理由
（対象人数146、うち無回答者1、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.他人の子どもの面倒はみたくない・関わりたくない	18	12.4%
2.他人の子どもの面倒をみることに不安がある（事故や急病など）	124	85.5%
3.受け取れる利用料が少ない	4	2.8%
4.その他	14	9.7%
合計	160	

➢「その他」の内容
・就労や介護がある 8　　・自信がない、責任が取れない 3　　・時間がない 1
・自分の子や孫の世話をしたい 1　　・利用者からのクレームを受けたくない 1

○ 問18（1）：土曜日の教育・保育事業の利用希望（n=236）

項目	回答数	割合
1.利用する必要はない	181	76.7%
2.ほぼ毎週利用したい	9	3.8%
3.月に1～2回は利用したい	44	18.6%
無回答	2	0.8%
合計	236	

・選択肢2,3：開始希望時間(n=53)

時間	回答数
7:00～7:59	6
8:00～8:59	27
9:00～9:59	14
10:00以降	3
無回答	3
合計	53

・選択肢2,3：終了希望時間(n=53)

時間	回答数
14:00より前	3
14:00～15:59	7
16:00～17:59	26
18:00以降	14
無回答	3
合計	53

○ 問18（2）：日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望（n=236）

項目	回答数	割合
1.利用する必要はない	207	87.7%
2.ほぼ毎週利用したい	4	1.7%
3.月に1～2回は利用したい	21	8.9%
無回答	4	1.7%
合計	236	

・選択肢2,3：開始希望時間(n=25)

時間	回答数
7:00～7:59	2
8:00～8:59	13
9:00～9:59	5
10:00以降	2
無回答	3
合計	25

・選択肢2,3：終了希望時間(n=25)

時間	回答数
16:00より前	3
16:00～16:59	9
17:00～17:59	4
18:00以降	6
無回答	3
合計	25

○ 問18-1：土日・祝日等にたまに教育・保育事業を利用したい理由
（対象人数65、うち無回答者4、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.月に数回仕事が入るため	38	62.3%
2.平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	9	14.8%
3.親族の介護や手伝いが必要なため	0	0.0%
4.保護者の息抜きのため	11	18.0%
5.その他	0	0.0%
合計	58	

○ 問19：1号認定児の長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望（n=25）
注：本設問は1号認定児のみが対象のところ、Web調査での振り分けにミスがあり、1号認定児以外も回答してしまったため、紙ベースで回答があった25人分のみを採用する。

項目	回答数	割合
1.利用する必要はない	12	48.0%
2.休み期間中、ほぼ毎日利用したい	6	24.0%
3.休み期間中、週に数日利用したい	7	28.0%
合計	25	

・選択肢2,3：開始希望時間(n=13)

時間	回答数
7:00～7:59	1
8:00～8:59	4
9:00～9:59	6
10:00以降	0
無回答	2
合計	13

・選択肢2,3：終了希望時間(n=13)

時間	回答数
16:00より前	5
16:00～16:59	3
17:00～17:59	2
18:00以降	1
無回答	2
合計	13

○ 問19-1：前問の選択肢3を選んだ理由（対象人数7、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.週に数回仕事が入るため	3	42.9%
2.買い物等の用事をまとめて済ませるため	2	28.6%
3.親族の介護や手伝いが必要なため	0	0.0%
4.保護者の息抜きのため	3	42.9%
5.その他	2	28.6%
合計	10	

○ 問20：病児・病後児保育施設の認知度（n=236）
①那須南病院（那須烏山市）

項目	回答数	割合
知っている	206	87.3%
知らない	30	12.7%
無回答	0	0.0%
合計	236	

②金丸こども園（大田原市）

項目	回答数	割合
知っている	181	76.7%
知らない	54	22.9%
無回答	1	0.4%
合計	236	

○ 問21：お子さんが病気等で教育・保育事業が利用できなかった経験（n=197）

項目	回答数	割合
あった	110	55.8%
なかった	82	41.6%
無回答	5	2.5%
合計	197	

○ 問21-1：お子さんが病気等で教育・保育事業を利用できなかった際の対処
（対象人数110、複数回答可）

項目	回答数	回答率
ア. 父親が休んだ	44	40.0%
イ. 母親が休んだ	95	86.4%
ウ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	14	12.7%
エ. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	40	36.4%
オ. 病児・病後児保育施設を利用した	3	2.7%
カ. ベビーシッターを利用した	0	0.0%
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0%
ク. 仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0%
ケ. その他	5	4.5%
合計	201	

➢「その他」の内容
・祖母 2　　・父、母、祖母のうち休みの人 2　　・不明 1

・それぞれの対処に要した平均日数

項目	総日数	回答数	無効数	有効数	平均日数/年
ア	342	44	1	43	7.95 日/年
イ	981	95	4	91	10.78 日/年
ウ	110	14	10	4	27.50 日/年
エ	81	40	31	9	9.00 日/年
オ	28	3	0	3	9.33 日/年
カ	0	0	0	0	0.00 日/年
キ	0	0	0	0	0.00 日/年
ク	0	0	0	0	0.00 日/年
ケ	20	5	2	3	6.67 日/年

○ 問21-2：前問の選択肢ア、イ、ウの病児・病後児保育施設の利用希望（n=106）

項目	回答数	割合
利用したいと思った	28	26.4%
利用したいと思わなかった	76	71.7%
無回答	2	1.9%
合計	106	

・平均利用希望日数

総日数	回答数	無効数	有効数	平均日数/年
55	28	22	6	9.17 日/年

○ 問21-3：病児・病後児保育施設を利用したいと思わなかった理由
（対象人数76、うち無回答者40、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.病気やケガの子どもを他人に看てもらうのは不安	14	38.9%
2.病児・病後児保育施設等の事業の質に不安がある	3	8.3%
3.病児・病後児保育施設等の利便性（立地や利用時間など）がよくない	5	13.9%
4.利用方法がわからない	4	11.1%
5.利用までの手続きが複雑で面倒	8	22.2%
6.利用料がかかる、利用料が高い	11	30.6%
7.親が仕事を休んで対応する	16	44.4%
8.その他	4	11.1%
合計	45	

➢「その他」の内容
・祖父母や家族で看護できる 2　　・すぐに回復した 1　　・親が看てあげたい 1
・子どもが安心できる自宅がいい 1
※ その他の内容を複数記載した回答者がいるため、合計数は回答数を超える。

○ 問21-4：問21-1の選択肢エからケで父母いずれかによる看護の希望（n=48）

項目	回答数	割合
仕事を休んで看たいと思った	35	72.9%
仕事を休んで看たいとは思わなかった	9	18.8%
無回答	4	8.3%
合計	48	

・平均希望日数

総日数	回答数	無効数	有効数	平均日数/年
183	35	6	29	6.31 日/年

○ 問21-5：前問で「仕事を休んで看たいとは思わなかった」理由
（対象人数9、うち無回答者7、複数回答可）

項目	回答数	割合
1.子どもの看護を理由に休みがとれない	0	0.0%
2.自営業なので休めない	0	0.0%
3.取得できる休暇日数が足りないので休めない	2	100.0%
4.その他	0	0.0%
合計	2	

○ 問22：不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況
（対象人数236、うち無回答者7、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.一時預かり・一時保育	0	0.0%
2.幼稚園の預かり保育	0	0.0%
3.ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
4.ショートステイ・トワイライトステイ	1	0.4%
5.ベビーシッター	1	0.4%
6.その他	3	1.3%
7.利用していない	224	97.8%
合計	229	

➢「その他」の内容
・職場の託児所　3

・それぞれの事業に要した平均日数

項目	総日数	回答数	無効数	有効数	平均日数/年
1	0	0	0	0	0.00 日/年
2	0	0	0	0	0.00 日/年
3	0	0	0	0	0.00 日/年
4	4	1	0	1	4.00 日/年
5	12	1	0	1	12.00 日/年
6	79	3	0	3	26.33 日/年

○ 問22-1：不定期の教育・保育事業等を利用していない理由（対象人数224、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.特に利用する必要がない	183	81.7%
2.利用したい事業が地域にない	20	8.9%
3.地域の事業の質に不安がある	6	2.7%
4.地域の事業の利便性（立地や利用時間など）がよくない	8	3.6%
5.利用料がかかる、利用料が高い	22	9.8%
6.自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	17	7.6%
7.事業の利用方法（手続き等）がわからない	15	6.7%
8.その他	10	4.5%
合計	281	

➢「その他」の内容
・妊娠中である　6　　・特に理由はない　1　　・私用では預けにくい　1
・祖父母に預かってもらえる　1　　・回答なし　1

○ 問23：不定期の教育・保育事業等の利用希望と目的別利用希望日数（n=236）

項目	回答数	割合
利用したい	44	18.6%
利用する必要はない	146	61.9%
無回答	46	19.5%
合計	236	

・利用目的

項目	回答数	回答率
ア．私用（買物、子ども習い事等）、リフレッシュ	31	70.5%
イ．冠婚葬祭、学校行事、親や親族の通院	23	52.3%
ウ．不定期の就労	7	15.9%
エ．その他	2	4.5%
無回答	2	4.5%
合計	65	

➢「その他」の内容
・入力なし　2

・目的別利用希望日数

項目	総日数	回答数	無効数	有効数	平均日数/年
ア	163	31	2	29	5.62　日/年
イ	134	23	2	21	6.38　日/年
ウ	54	7	0	7	7.71　日/年
エ	0	2	2	0	0.00　日/年

○ 問24：お子さんの泊まりがけでの監護依頼の有無とその対処方法別日数（n=236）

項目	回答数	割合
あった	9	3.8%
なかった	171	72.5%
無回答	56	23.7%
合計	236	

・対処方法

項目	回答数	回答率
ア．親族・知人（同居者を含む）にみてもらった	9	100.0%
イ．ショートステイを利用した	0	0.0%
ウ．ショートステイ以外の保育事業を利用した	0	0.0%
エ．預け先が見つからず、子どもを用事に同行させた	0	0.0%
オ．預け先が見つからず、子どもだけで留守番させた	0	0.0%
カ．その他	0	0.0%
合計	9	

・目的別利用希望日数

項目	総日数	回答数	無効数	有効数	平均日数/年
ア	65	9	0	9	7.22　日/年

○ 問24-1：親族・知人にお子さんの泊まりがけ監護を依頼したときの困難度（n=9）

項目	回答数	割合
1.非常に困難だった	0	0.0%
2.どちらかというと困難だった	3	33.3%
3.特に困難ではなかった	6	66.7%
合計	9	

○ 問24-2：ショートステイの認知度（n=236）

項目	回答数	割合
1.知っている	24	10.2%
2.知らない	211	89.4%
無回答	1	0.4%
合計	236	

○ 問25：お子さんが低学年時に希望する放課後の過ごさせ方と希望する日数
（対象人数236、うち無回答者2、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.自宅	124	53.0%
2.祖父母宅や友人・知人宅	62	26.5%
3.習い事（ピアノ、サッカー、学習塾等）	43	18.4%
4.放課後児童クラブ（学童保育）	118	50.4%
5.ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
6.その他（公民館、公園など）	12	5.1%
合計	359	

・それぞれの過ごさせ方の希望日数

項目	総日数	回答数	無効数	有効数	平均日数/年
1	489	124	4	120	4.08 日/年
2	195	62	5	57	3.42 日/年
3	71	43	0	43	1.65 日/年
4	465	118	7	111	4.19 日/年
5	0	0	0	0	0.00 日/年
6	24	12	0	12	2.00 日/年

・選択肢4：預かり希望時間(n=118)

時間	回答数
16:00～16:59	15
17:00～17:59	38
18:00～18:59	48
19:00以降	7
無回答	10
合計	118

○ 問26：お子さんが高学年時に希望する放課後の過ごさせ方と希望する日数
（対象人数236、うち無回答者6、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.自宅	145	63.0%
2.祖父母宅や友人・知人宅	61	26.5%
3.習い事（ピアノ、サッカー、学習塾等）	74	32.2%
4.放課後児童クラブ（学童保育）	91	39.6%
5.ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
6.その他（公民館、公園など）	13	5.7%
合計	384	

・それぞれの過ごさせ方の希望日数

項目	総日数	回答数	無効数	有効数	平均日数/年
1	543	145	3	142	3.82 日/年
2	191	61	4	57	3.35 日/年
3	150	74	2	72	2.08 日/年
4	342	91	6	85	4.02 日/年
5	0	0	0	0	0.00 日/年
6	23	13	0	13	1.77 日/年

・選択肢4：預かり希望時間(n=91)

時間	回答数
16:00より前	1
16:00～16:59	7
17:00～17:59	35
18:00～18:59	34
19:00以降	6
無回答	8
合計	91

○ 問27(1):放課後児童クラブの土曜日の利用希望(n=126)

項目	回答数	割合
1.低学年の間は利用したい	6	4.8%
2.高学年になっても利用したい	21	16.7%
3.利用する必要はない	97	77.0%
無回答	2	1.6%
合計	126	

・開始希望時間(n=27)

時間	回答数
7:00～7:59	4
8:00～8:59	14
9:00～9:59	5
10:00以降	2
無回答	2
合計	27

・終了希望時間(n=27)

時間	回答数
16:00より前	1
16:00～16:59	5
17:00～17:59	8
18:00以降	11
無回答	2
合計	27

○ 問27(2):放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用希望(n=126)

項目	回答数	割合
1.低学年の間は利用したい	7	5.6%
2.高学年になっても利用したい	9	7.1%
3.利用する必要はない	108	85.7%
無回答	2	1.6%
合計	126	

・開始希望時間(n=16)

時間	回答数
7:00～7:59	1
8:00～8:59	9
9:00～9:59	4
10:00以降	2
無回答	0
合計	16

・終了希望時間(n=16)

時間	回答数
16:00より前	0
16:00～16:59	4
17:00～17:59	4
18:00以降	8
無回答	0
合計	16

○ 問27(3):放課後児童クラブのお盆休み(8/13～16)の利用希望(n=126)

項目	回答数	割合
1.低学年の間は利用したい	11	8.7%
2.高学年になっても利用したい	22	17.5%
3.利用する必要はない	92	73.0%
無回答	1	0.8%
合計	126	

・利用希望日(対象33)

日付	回答数
8/13	30
8/14	27
8/15	28
8/16	27
無回答	2
合計	114

・開始希望時間(n=33)

時間	回答数
7:00～7:59	1
8:00～8:59	18
9:00～9:59	10
10:00以降	2
無回答	2
合計	33

・終了希望時間(n=33)

時間	回答数
16:00より前	1
16:00～16:59	6
17:00～17:59	9
18:00以降	15
無回答	2
合計	33

○ 問27(4):放課後児童クラブの年末年始休み(12/28～1/4)の利用希望(n=126)

項目	回答数	割合
1.低学年の間は利用したい	4	3.2%
2.高学年になっても利用したい	16	12.7%
3.利用する必要はない	104	82.5%
無回答	2	1.6%
合計	126	

・利用希望日(対象20)

日付	回答数
12/28	17
12/29	15
12/30	12
12/31	7
1/2	6
1/3	8
1/4	5
合計	70

・開始希望時間(n=20)

時間	回答数
7:00～7:59	2
8:00～8:59	10
9:00～9:59	7
10:00以降	1
合計	20

・終了希望時間(n=20)

時間	回答数
16:00より前	1
16:00～16:59	4
17:00～17:59	7
18:00以降	8
合計	20

○ 問28:放課後児童クラブの長期休業中(夏・冬・春休み)の利用希望(n=126)

項目	回答数	割合
1.低学年の間は利用したい	35	27.8%
2.高学年になっても利用したい	66	52.4%
3.利用する必要はない	22	17.5%
無回答	3	2.4%
合計	126	

・利用希望日数(n=101)

週あたり	回答数
2日	1
3日	6
4日	6
5日	80
6日	4
無回答	4
合計	101

・開始希望時間(n=101)

時間	回答数
7:00～7:59	8
8:00～8:59	64
9:00～9:59	23
10:00以降	2
無回答	4
合計	101

・終了希望時間(n=101)

時間	回答数
16:00より前	2
16:00～16:59	15
17:00～17:59	35
18:00以降	45
無回答	4
合計	101

○ 問29①:母親の育休や短時間勤務の取得状況(n=236)

項目	回答数	割合
1.働いていなかった	66	28.0%
2.取得した・取得中である	141	59.7%
3.取得していない	21	8.9%
4.その他	7	3.0%
無回答	1	0.4%
合計	236	

➢「その他」の内容
・妊娠中 2
・無回答 5

・選択肢2:取得期間(n=141)

時間	回答数
6月未満	5
6月以上1年未満	30
1年以上2年未満	92
2年以上	7
無回答	7
合計	141

総取得月数	対象人数	平均取得月数
1,737 月	134 人	12.96 月/人

・選択肢3:取得していない理由(対象人数21、うち無回答者2、複数回答可)

項目	回答数	回答率
1.職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	5.3%
2.仕事が忙しかった	1	5.3%
3.(産休後に)仕事に早く復帰したかった	2	10.5%
4.取得後の職場復帰が難しそうだった	1	5.3%
5.昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%
6.収入減となり、経済的に苦しくなることが予想された	2	10.5%
7.認定こども園・保育所などに預けることができた	1	5.3%
8.配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%
9.配偶者が無職、祖父母等にみてもらえるなど、利用する必要がなかった	1	5.3%
10.子育てや家事に専念するため退職した	3	15.8%
11.職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8	42.1%
12.有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	0	0.0%
13.育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0%
14.産前産後の休暇(産前6週、産後8週)を取得できることを知らず退職した	2	10.5%
15.その他	4	21.1%
合計	26	

➢「その他」の内容
・自営業・家族経営　2　　・夫婦で同じ職場のため調整した　1　　・突然だった　1

○ 問29②：父親の育休や短時間勤務の取得状況（n=236）

項目	回答数	割合
1.働いていなかった	1	0.4%
2.取得した・取得中である	12	5.1%
3.取得していない	197	83.5%
4.その他	4	1.7%
無回答	22	9.3%
合計	236	

・選択肢2：取得期間(n=12)

時間	回答数
6月未満	9
6月以上1年未満	0
1年以上2年未満	1
2年以上	0
無回答	2
合計	12

総取得月数	対象人数	平均取得月数
22.66　月	10　人	2.27　月／人

➢「その他」の内容
・妻が妊娠中　1
・無回答　3

・選択肢3：取得していない理由(対象人数197、うち無回答者24、複数回答可)

項目	回答数	回答率
1.職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	65	37.6%
2.仕事が忙しかった	77	44.5%
3.（産休後に）仕事に早く復帰したかった	3	1.7%
4.取得後の職場復帰が難しそうだった	5	2.9%
5.昇給・昇格などが遅れそうだった	8	4.6%
6.収入減となり、経済的に苦しくなることが予想された	49	28.3%
7.認定こども園・保育所などに預けることができた	4	2.3%
8.配偶者が育児休業制度を利用した	53	30.6%
9.配偶者が無職、祖父母等にみてもらえるなど、利用する必要がなかった	27	15.6%
10.子育てや家事に専念するため退職した	4	2.3%
11.職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	22	12.7%
12.有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	0	0.0%
13.育児休業を取得できることを知らなかった	6	3.5%
14.産前産後の休暇（産前6週、産後8週）を取得できることを知らず退職した	0	0.0%
15.その他	10	5.8%
合計	333	

➢「その他」の内容
・自営業・家族経営　2　　・取得の考えがなかった　1　　・転職後で要件を満たさなかった　1
・上司の許可が得られなかった　1　　・夫婦で同じ職場のため調整した　1
・有給休暇で対応した　1　　・第1子＋祖父母が近くにいた　1　　・無回答、不明　2

○ 問29-1①：母親の育休取得後の職場復帰（n=14

項目	回答数	割合
1.職場に復帰した	114	80.9%
2.現在も育休中である	15	10.6%
3.育休中に離職した	7	5.0%
無回答	5	3.5%
合計	141	

○ 問29-2①：母親の復帰のタイミング（n=114）

項目	回答数	割合
1.年度初めの入園	34	29.8%
2.上記以外	80	70.2%
合計	114	

○ 問29-1②：父親の育休取得後の職場復帰（n=12

項目	回答数	割合
1.職場に復帰した	11	91.7%
2.現在も育休中である	0	0.0%
3.育休中に離職した	0	0.0%
無回答	1	8.3%
合計	12	

○ 問29-2①：父親の復帰のタイミング（n=11）

項目	回答数	割合
1.年度初めの入園	0	0.0%
2.上記以外	11	100.0%
合計	11	

○ 問29-3①：母親の職場復帰時の子どもの年齢と希望とのかい離（n=114）

・実際の職場復帰時の子どもの年齢

年齢	回答数
0歳	31
1歳	76
2歳	5
3歳	0
4歳	1
無回答	1
合計	114

総月数	回答数	無効数	有効数
265	31	0	31
1022	76	0	76
140	5	0	5
0	0	0	0
51	1	0	1
合計			合計
1,478 月			113 人

平均
1歳1か月

平均月数
13.08 月

・職場復帰は希望通りのタイミングか（n=114）

項目	回答数	割合
希望通り	72	63.2%
希望と違う	31	27.2%
無回答	11	9.6%
合計	114	

・希望していた職場復帰時の子どもの年齢（n=31）

年齢	回答数
0歳	1
1歳	20
2歳	6
3歳	4
4歳	0
無回答	0
合計	31

総月数	回答数	無効数	有効数
6	1	0	1
266	20	0	20
144	6	0	6
144	4	0	4
0	0	0	0
合計			合計
560 月			31 人

平均
1歳6か月

平均月数
18.06 月

○ 問29-3②：父親の職場復帰時の子どもの年齢と希望とのかい離（n=11）

・実際の職場復帰時の子どもの年齢

年齢	回答数
0歳	8
1歳	2
2歳	0
3歳	0
4歳	0
無回答	1
合計	11

総月数	回答数	無効数	有効数
20.5	8	0	8
24	2	0	2
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
合計			合計
44.5 月			10 人

平均
5か月

平均月数
4.45 月

・職場復帰は希望通りのタイミングか（n=11）

項目	回答数	割合
希望通り	6	54.5%
希望と違う	4	36.4%
無回答	1	9.1%
合計	11	

・希望していた職場復帰時の子どもの年齢（n=4）

年齢	回答数
0歳	2
1歳	2
2歳	0
3歳	0
4歳	0
無回答	0
合計	4

総月数	回答数	無効数	有効数
7	2	0	2
24	2	0	2
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
合計			合計
31 月			4 人

平均
8か月

平均月数
7.75 月

○ 問29-4①:3歳まで育休を取得できる場合の母親が希望する職場復帰時の子どもの年齢(n=114)

年齢	回答数
0歳	1
1歳	35
2歳	18
3歳	48
6歳	1
無回答	11
合計	114

総月数	回答数	無効数	有効数
10	1	0	1
512	35	0	35
488	18	0	18
1730	48	0	48
72	1	0	1
合計			合計
2,812 月			103 人

平均
2歳3か月

平均月数
27.30 月

○ 問29-4②:3歳まで育休を取得できる場合の父親が希望する職場復帰時の子どもの年齢(n=11)

年齢	回答数
0歳	2
1歳	3
2歳	0
3歳	3
6歳	0
無回答	3
合計	11

総月数	回答数	無効数	有効数
12	2	0	2
37	3	0	3
0	0	0	0
108	3	0	3
0	0	0	0
合計			合計
157 月			8 人

平均
1歳8か月

平均月数
19.63 月

○ 問29-5①:母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由(n=31)
・実際の職場復帰のタイミング(n=31)

項目	回答数	割合
(1)希望よりも早く復帰した	24	77.4%
(2)希望よりも遅く復帰した	2	6.5%
無回答	5	16.1%
合計	31	

(1)希望よりも早く復帰した(対象人数24、うち無回答者1、複数回答可)

項目	回答数	回答率
1.希望する認定こども園・保育所等に入園するため	2	8.7%
2.配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
3.経済的な理由で早く復帰する必要があった	7	30.4%
4.人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	6	26.1%
5.その他	10	43.5%
合計	25	

➢「その他」の内容
・仕事上の理由(やむなく、人手不足、長く休むと迷惑になる等) 6
・会社の決まり 1　・スキルを落としたくない 1　・無回答 2

(2)希望よりも遅く復帰した(対象人数2、複数回答可)

項目	回答数	回答率
1.希望する認定こども園・保育所等に入園するため	1	50.0%
2.自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
3.配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
4.職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%
5.子どもをみてくれる人がいなかったため	1	50.0%
6.その他	1	50.0%
合計	3	

➢「その他」の内容
・待機児童 1

○ 問29-5②:父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由(n=4)
・実際の職場復帰のタイミング(n=31)

項目	回答数	割合
(1)希望よりも早く復帰した	3	75.0%
(2)希望よりも遅く復帰した	0	0.0%
無回答	1	25.0%
合計	4	

(1)希望よりも早く復帰した(対象人数3、複数回答可)

項目	回答数	回答率
1.希望する認定こども園・保育所等に入園するため	0	0.0%
2.配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
3.経済的な理由で早く復帰する必要があった	2	66.7%
4.人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	1	33.3%
5.その他	1	33.3%
合計	4	

➢「その他」の内容
・職場のルールで2か月しか育休を取得できなかった　1

(2)希望よりも遅く復帰した(対象人数0)

項目	回答数	回答率
1.希望する認定こども園・保育所等に入園するため	0	0.0%
2.自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
3.配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
4.職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%
5.子どもをみてくれる人がいなかったため	0	0.0%
6.その他	0	0.0%
合計	0	

○ 問29-6:職場復帰の際の短時間勤務制度の利用状況

①母親(n=31)

項目	回答数	割合
利用した	11	35.5%
利用しなかった	10	32.3%
無回答	10	32.3%
合計	31	

②父親(n=4)

項目	回答数	割合
利用した	0	0.0%
利用しなかった	3	75.0%
無回答	1	25.0%
合計	4	

○ 問29-7:お子さんが1歳で必ず利用できる教育・保育事業があった場合の育休取得等の希望

①母親(n=31)

項目	回答数	割合
1.1歳になるまで育休を取得したい	21	67.7%
2.1歳になる前に職場復帰したい	0	0.0%
無回答	10	32.3%
合計	31	

②父親(n=4)

項目	回答数	割合
1.1歳になるまで育休を取得したい	3	75.0%
2.1歳になる前に職場復帰したい	0	0.0%
無回答	1	25.0%
合計	4	

○ 問30:今以上にお子さんを持ちたいという希望(n=236)

項目	回答数	回答率	
1.今以上は子どもを持ちたいと思わない	147	62.3%	→【参考1】へ
2.あと1人持ちたい	77	32.6%	【参考2】へ
3.あと2人持ちたい	8	3.4%	
4.あと3人以上持ちたい	3	1.3%	
無回答	1	0.4%	
合計	236		

【参考1】「今以上子どもを持ちたいと思わない」と回答した人の平均きょうだい数（n=147）

・きょうだいの有無、状況

項目	回答数	割合
1人っ子	18	12.2%
きょうだいあり	128	87.1%
無回答	1	0.7%
合計	147	

2人きょうだい以上の家庭で3人以上のきょうだいがいる割合　31.38%

※R5.8町子育て世帯生活支援特別給付金
- 2人以上のきょうだい　478 世帯
- 3人以上のきょうだい　150 世帯

・きょうだいの数の推定

きょうだい数	基礎数	割合	算出	推定数
2人	128	68.62%	87.8336	88
3人以上	128	31.38%	40.1664	40
			合計	128

※単位は「世帯」

・子どもの数の推定

項目	世帯数	推定数
1人っ子	18	18
2人きょうだい	88	176
3人以上きょうだい	40	120
合計	146	314

※3人以上きょうだいは「3人きょうだい」として計算

平均きょうだい数
2.15　人/世帯

注：本調査では、同一保護者による複数回答を含んでいるため、例えば保護者が2人きょうだいでそれぞれ回答した場合、「2人兄弟が2組」とカウントされる。

【参考2】「今以上子どもを持ちたい」と回答した人の平均きょうだい数と理想のきょうだい数（n=88）

・今以上持ちたい子どもの人数

項目	回答数	推定数
あと1人	77	77
あと2人	8	16
あと3人以上	3	9
合計	88	102

※3人以上きょうだいは「3人きょうだい」として計算

今以上持ちたいきょうだい数の平均
あと　1.16　人持ちたい

・きょうだいの数の推定

きょうだい数	基礎数	割合	算出	推定数
2人	59	68.62%	40.4858	40
3人以上	59	31.38%	18.5142	19
			合計	59

※単位は「世帯」

・子どもの数の推定

項目	世帯数	推定数
1人っ子	29	29
2人きょうだい	40	80
3人以上きょうだい	19	57
合計	88	166

※3人以上きょうだいは「3人きょうだい」として計算

今いるきょうだい数の平均
今　1.89　人いる

注：本調査では、同一保護者による複数回答を含んでいるため、例えば保護者が2人きょうだいでそれぞれ回答した場合、「2人兄弟が2組」とカウントされる。

・将来の理想的な子どもの数

今以上持ちたいきょうだい数の平均	1.16	人
今いるきょうだい数の平均	1.89	人

将来の理想的な子どもの数の平均
合計　3.05　人

○ 問30-1：これからお子さんを持つために必要な支援（対象人数88、複数回答可）

項目	回答数	回答率
1.子育て家庭の経済的な負担への支援	82	93.2%
2.妊娠・出産・育児に係る負担や不安を和らげる支援	45	51.1%
3.親子で気軽に遊ぶことのできる交流の場	28	31.8%
4.安定的な保育環境の確保	56	63.6%
5.子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進	50	56.8%
6.その他	8	9.1%
7.特に支援は必要ない	1	1.1%
合計	270	

➢「その他」の内容
・社会全体の子育てに対する理解　1　　・手当ではなく収入アップ　1
・無回答　6

○ 問31：那珂川町での子育て支援や環境の満足度（n=236）

項目	回答数	割合
1.大変不満	12	5.1%
2.やや不満	51	21.6%
3.普通	109	46.2%
4.やや満足	55	23.3%
5.大変満足	8	3.4%
無回答	1	0.4%
合計	236	

仮にポイント化した場合、町に対する現在の満足度の平均は
2.98　pt

○ 問32：子育ての環境や支援に関するご意見

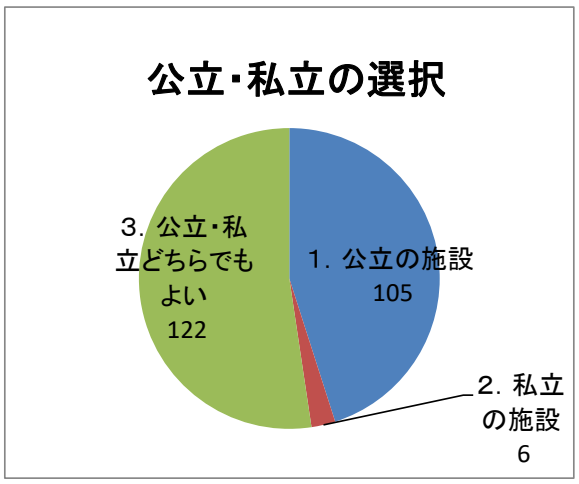
➢ それぞれの意見をまとめた内容は別紙に記載。

〇問14-2：教育・保育事業を選ぶ際に、もし選べるとしたら、公立または私立の施設のどちらを選びますか。

調査回答者数　236

本問回答者数　233（未回答　3）

選択肢	回答数	割合
1. 公立の施設	105	45.06%
2. 私立の施設	6	2.58%
3. 公立・私立どちらでもよい	122	52.36%



【1の主な理由】

・費用面（公立安価・私立高額のイメージ）…58

・安心感がある…5　・質が高い…2

・特に理由なし、なんとなく…6

※ 未記入…24

【2の主な理由】

・教育や保育の内容がいい…4

・昔いた園の雰囲気がよかった…1

※ 未記入…1

【3の主な理由】

・良い園ならどこでもいい…35

・特に理由やこだわりなし…26

・教育や保育の内容、条件を重視する…21

※ 未記入…30

○ 問32:子育ての環境や支援に関するご意見(対象人数84人、複数回答可)

項目	回答数	回答率
1.要望	81	92.0%
2.不満	29	33.0%
3.不安	8	9.1%
4.苦情	12	13.6%
5.意見	3	3.4%
6.お礼・期待	5	5.7%
合計	138	

【主な意見の内容】

項目	主な内容
1.要望	○遊び場に関するもの(25) ・新しい施設の設置 屋内型の子どもが遊べる施設(6)、公園(5) ・既存の公園 遊具等の設備の充実(5)、既存遊具の修理(1)、草刈りの実施(1) ・子育て支援センターわかあゆ 土日の開所(3)、対象児童の小学校低学年までの拡大(1)、 気軽に参加できるイベントの実施(1) ・ウェルフルなかがわ 子どもが遊べる施設の充実(1)、おむつ着用児のプール使用(1) ○こども園に関するもの(20) ・保育の体制、内容 保護者対応の改善(行事の早期連絡、担任とのコミュニケーションなど)(4)、 保育教諭の増員(2)、養護教諭の配置(1)、ひばりの土曜保育実施(1)、 保育の質の向上(1)、イベントの充実(1)など ・保育料などの費用負担 3号認定の無償化(1)、第2子の減免(1)、遠足バス代の負担軽減(1) 利用料金や保育無償化などの詳しい説明がほしい(1) ・施設・設備 屋根や壁などの維持管理(1) ○教育・保育施設に関するもの(6) ・設置の希望 幼稚園(3)、緊急時に対応できる託児施設(2)、民間の施設(1) ○町に対するもの(26) ・子育て支援施策 情報提供の充実(2)、町内の病児保育の設置(1)など ・放課後児童クラブ 利用料の減額(1)、開所時間の延長(1)、遊具等の充実(1) ・公共施設 図書館の充実(1)、街灯の増設(1)、各施設の立地(1)など ・その他 経済的支援(4)、自然を活かした教育の実施(1)など ○社会全般に対するもの(4)、 何でもそろうショッピングセンター(1)、小児科のある病院(1)、 エミナール退去後の賃貸物件(1)、公共交通等の整備(1)
2.不満	○遊び場に関するもの(6) ・公園などの施設 遊べる場所が少ない(3)、遊具が少ない・つまらない(2)、 子育て支援センターが土日閉所で利用できない(1) ○こども園に関するもの(4) ・保育の体制、内容 保育教諭の態度(1)、開所時間が遅い(1)、子育て支援課との連携不足(1)、 他の子どもや家庭とふれ合える行事が少ない(1) ○町に対するもの(11) ・子育て支援・環境 子育てしやすい環境ではない(2)、仕事と子育ての両立が困難(1)、

	職場と園から精神的な圧力がある(1)、赤ちゃんクーポンの対象商品が少ない(1) 3人産んでも町からは何ももらえない(1)、出産育児支援金が少ない(1)、 ひとり親世帯で所得が高いと支援を受けられない(1)など ・放課後児童クラブ 利用料金が高すぎる(1) ・その他 インフルエンザ予防接種の助成額が安い(1)、広域入所の手続き(1) 〇社会全般に対するもの(8) ・医療機関 小児科の病院が近くにない(2)、休日夜間の子ども対応可能な病院がない(1) ・その他 交通の便が悪い(2)、働き口がない(1)、近所に同世代の子どもがいない(1)、 高校進学の選択肢が経済状況などの影響を受ける(1)
3.不安	〇経済的なもの(2)…金銭的な不安、物価高騰などへの不安 〇こども園に関するもの(2)…保育の安全面、イベント対応 〇ニーズ調査に関するもの(1)…調査結果が子育て支援施策に反映されるのか 〇その他(3)…人口減少、活気のなさ、年末年始等の子どもの預け先
4.苦情	〇こども園に関するもの(8) ・保育の体制、内容 保育教諭との意思疎通ができない・愛想が悪い(2) 2号認定児の早いお迎え時に1号認定児と遊んで待つなどの融通が利かない(2) 言葉使いや態度が悪い(1)、年長児に小学校を意識した生活をさせない(1) ・保護者への対応 行事開催や感染症流行のお知らせが遅い(1) 1号認定の利用時間が書類上と園の説明で食い違う(1) 〇町に対するもの(4) ・放課後児童クラブ 支援員の対応が良くない、改善されない(1)など ・ニーズ調査 設問や誘導がわかりづらい(1)、Web調査の回答を一時保存できず不便(1)
5.意見	〇ニーズ調査に関するもの(2)… 子どもの貧困対策の必要性、Web調査と調査票の整合性 〇子育て支援施策に関するもの(1)… まだ利用したことのない施策を利用してみたい
6.お礼・期待	〇お礼(4)…子育てクーポン事業(2)、特産品給付事業(1)、子育て支援の充実(1) 〇期待(1)…さらなる子育て支援施策の充実

（３）那珂川町子ども・子育て会議条例

那珂川町子ども・子育て会議条例

制定　平成２５年９月１０日条例第３２号

改正　平成２９年３月１６日条例第１１号

改正　令和５年１２月７日条例第２３号

（設置）

第１条　子ども・子育て支援法（平成２４年法律第６５号。以下「法」という。）第７２条第１項の規定に基づき、那珂川町子ども・子育て会議（以下「子育て会議」という。）を置く。

（所掌事務）

第２条　子育て会議は、法第７２条第１項各号に掲げる事務を処理するものとする。

（組織）

第３条　子育て会議は、委員１２人以内で組織する。

（委員）

第４条　子育て会議の委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱又は任命する。

⑴　法第６条第２項に規定する保護者

⑵　法第７条第１項に規定する子ども・子育て支援に関する事業に従事する者

⑶　子ども・子育て支援に関し学識経験のある者

⑷　公募による者

⑸　その他町長が必要と認める者

２　委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

３　委員は、再任されることができる。

（会長及び副会長）

第５条　子育て会議に、会長及び副会長１人を置き、委員の互選により選任する。

２　会長は、会務を総理し、会議を代表する。

３　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第６条　子育て会議の会議は、会長が招集し、その議長となる。

２　子育て会議の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

３　子育て会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（関係者の出席等）

第７条　子育て会議は、審議のため必要があると認めるときは、関係者に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

（庶務）

第８条　子育て会議の庶務は、子育て支援課において処理する。

（平２９条例１１・一部改正）

（委任）

第９条　この条例に定めるもののほか、子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附　則

（施行期日）

１　この条例は、公布の日から施行する。

（招集の特例）

２　子育て会議の最初の会議は、第６条第１項の規定にかかわらず、町長が招集する。

附　則（平成２９年３月１６日条例第１１号）

この条例は、平成２９年４月１日から施行する。

（４）那珂川町子ども・子育て会議委員名簿

那珂川町子ども・子育て会議委員名簿

委嘱期間：令和６年６月１日から令和８年５月３１日まで

No.	氏　　名	区　　分　　等	備　　考
1	たかせ　ひろむ 髙瀬　弘	保護者（町ＰＴＡ連絡協議会　会長）	
2	よしむら　やすひろ 吉村　康弘	保護者（ひばり認定こども園保護者会　会長）	
3	いそべ　たかし 磯部　卓	保護者(わかあゆ認定こども園保護者会　会長)	副会長
4	たかの　みちやす 髙野　路康	事業従事者（ひばり認定こども園長）	
5	かわかみ　きよみ 川上　清美	事業従事者（わかあゆ認定こども園長）	
6	あおき　たかし 青木　崇	学識経験（教育委員）	
7	おか　まりこ 岡　万里子	学識経験（主任児童委員）	
8	ましこ　あけみ 益子　明美	学識経験（家庭教育オピニオンリーダーこうまの会　副会長）	
9	おおがね　ひろし 大金　浩	その他（行政区長連絡協議会　副会長）	会長
10	さとう　よしのぶ 佐藤　佳正	その他（町社会福祉協議会　会長）	

（敬称略）

（５）第３次那珂川町子ども・子育て支援プラン策定経緯

年月日	事　　項	備　　考
R6.6.4	「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」実施	調査期間 6/19 まで
R6.6.24	那珂川町子ども子育て会議委員委嘱	
R6.6.24	令和６年度第１回那珂川町子ども・子育て会議	馬頭総合福祉センター
R6.6.27	那珂川町子ども・子育て会議へ「第 3 次那珂川町子ども・子育て支援プラン」策定について諮問	
R6.9.24	令和６年度第２回那珂川町子ども・子育て会議	役場２０１会議室
R6.10.31	調整担当者会議 「第 3 次那珂川町子ども・子育て支援プラン（案）」協議	役場２０１会議室
R6.11.12	令和６年度第３回那珂川町子ども・子育て会議	馬頭総合福祉センター
R6.11.13	那珂川町子ども・子育て会議から「第 3 次那珂川町子ども・子育て支援プラン」について答申	
R6.11.15	庁議 「第 3 次那珂川町子ども・子育て支援プラン（案）」協議	役場２０１会議室
R6.12.3	町議会教育民生常任委員会 「第 3 次那珂川町子ども・子育て支援プラン（案）」提示	
R7.1.7	パブリックコメント募集	募集期間 2/7 まで
R7.2.7	「こどものぱぶこめ」「若者のパブコメ」実施	実施期間 2/13 まで
R7.2.25	町議会全員協議会 「第 3 次那珂川町子ども・子育て支援プラン（案）」提示	
R7.3.21	令和６年度第４回那珂川町子ども・子育て会議	書面開催
R7.3.26	「第 3 次那珂川町子ども・子育て支援プラン」決定	



第３次那珂川町子ども・子育て支援プラン

令和７年３月
那珂川町子育て支援課子育て支援係
324-0692　栃木県那須郡那珂川町馬頭 555
TEL 0287(92)1115　FAX 0287(92)2897
http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp